

第2章 差別に関する認識と具体的な事象における人権意識の状況

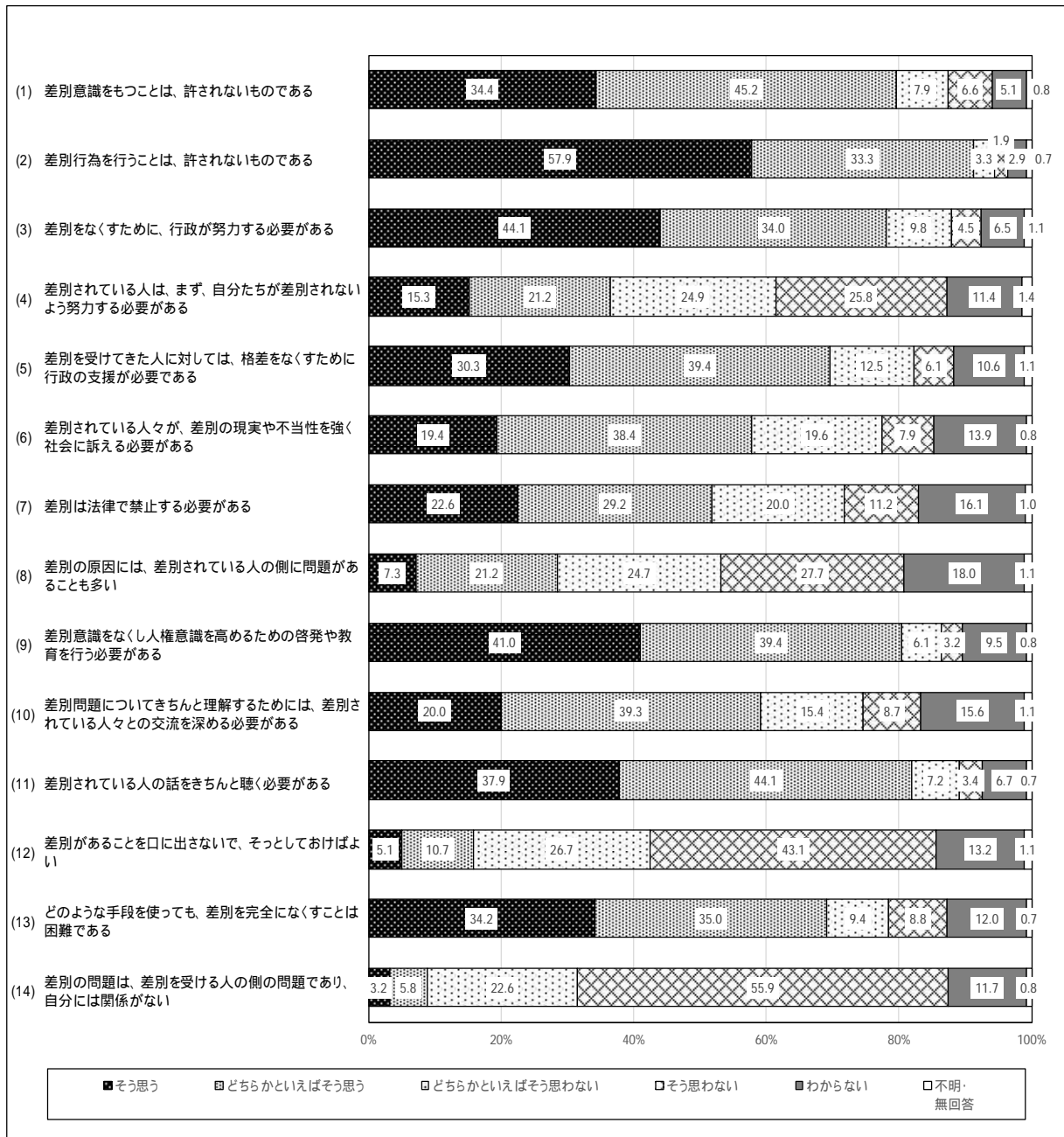
2-1. 差別に関する基本的な認識

問3 一般的に「差別」というものについて、あなたはどのようなお考えをお持ちですか。次の(1)～(14)のすべての項目についてお答えください。(それぞれ1つに)

【表2-1-1 差別に関する基本的な認識】

	(上段:人、下段:%)						合計
	そう思う	えどち ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 不 回 明 答	
(1) 差別意識をもつことは、許されないものである	250 34.4	328 45.2	57 7.9	48 6.6	37 5.1	6 0.8	726 100.0
(2) 差別行為を行うことは、許されないものである	420 57.9	242 33.3	24 3.3	14 1.9	21 2.9	5 0.7	726 100.0
(3) 差別をなくすために、行政が努力する必要がある	320 44.1	247 34.0	71 9.8	33 4.5	47 6.5	8 1.1	726 100.0
(4) 差別されている人は、まず、自分たちが差別されないよう努力する必要がある	111 15.3	154 21.2	181 24.9	187 25.8	83 11.4	10 1.4	726 100.0
(5) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要である	220 30.3	286 39.4	91 12.5	44 6.1	77 10.6	8 1.1	726 100.0
(6) 差別されている人々が、差別の現実や不当性を強く社会に訴える必要がある	141 19.4	279 38.4	142 19.6	57 7.9	101 13.9	6 0.8	726 100.0
(7) 差別は法律で禁止する必要がある	164 22.6	212 29.2	145 20.0	81 11.2	117 16.1	7 1.0	726 100.0
(8) 差別の原因には、差別されている人の側に問題があることも多い	53 7.3	154 21.2	179 24.7	201 27.7	131 18.0	8 1.1	726 100.0
(9) 差別意識をなくし人権意識を高めるための啓発や教育を行う必要がある	298 41.0	286 39.4	44 6.1	23 3.2	69 9.5	6 0.8	726 100.0
(10) 差別問題についてきちんと理解するためには、差別されている人々との交流を深める必要がある	145 20.0	285 39.3	112 15.4	63 8.7	113 15.6	8 1.1	726 100.0
(11) 差別されている人の話をきちんと聴く必要がある	275 37.9	320 44.1	52 7.2	25 3.4	49 6.7	5 0.7	726 100.0
(12) 差別があることを口に出さしないで、そっとしておけばよい	37 5.1	78 10.7	194 26.7	313 43.1	96 13.2	8 1.1	726 100.0
(13) どのような手段を使っても、差別を完全になくすことは困難である	248 34.2	254 35.0	68 9.4	64 8.8	87 12.0	5 0.7	726 100.0
(14) 差別の問題は、差別を受ける人の側の問題であり、自分には関係がない	23 3.2	42 5.8	164 22.6	406 55.9	85 11.7	6 0.8	726 100.0

【図2-1 差別に関する基本的な認識】



差別に関する基本的な認識について尋ねたところ、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合は、『(2)差別行為を行うことは、許されないものである』が91.2%と最も高く、次いで『(11) 差別されている人の話をきちんと聴く必要がある』が82.0%、『(9) 差別意識をなくし人権意識を高めるための啓発や教育を行う必要がある』が80.4%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、『(14) 差別の問題は、差別を受ける人の側の問題であり、自分には関係がない』で9.0%、次いで『(12) 差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい』が15.8%、『(8) 差別の原因には、差別されている人の側に問題があることも多い』が28.5%となっている。

性別で見ると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、男性では『(2) 差別行為を行うことは、許されないものである』で 90.1%、次いで『(9) 差別意識をなくし人権意識を高めるための啓発や教育を行う必要がある』が 80.8%、『(11) 差別されている人の話をきちんと聴く必要がある』が 80.5%となっている。

女性でも『(2) 差別行為を行うことは、許されないものである』が 92.7%と最も高く、次いで『(11) 差別されている人の話をきちんと聴く必要がある』が 82.8%、『(9) 差別意識をなくし人権意識を高めるための啓発や教育を行う必要がある』が 80.8%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、男性では『(14) 差別の問題は、差別を受ける人の側の問題であり、自分には関係がない』で 12.0%、次いで『(12) 差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい』が 19.9%、『(8) 差別の原因には、差別されている人の側に問題があることも多い』が 34.9%となっている。

女性でも『(14) 差別の問題は、差別を受ける人の側の問題であり、自分には関係がない』で 6.1%、次いで『(12) 差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい』12.9%、『(8) 差別の原因には、差別されている人の側に問題があることも多い』が 24.7%となっている。

年齢別にみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、10 歳代では『(9) 差別意識をなくし人権意識を高めるための啓発や教育を行う必要がある』と『(11) 差別されている人の話をきちんと聴く必要がある』で 100.0%となっており、20 歳代以上では『(2) 差別行為を行うことは、許されないものである』であり、数値は 20 歳代が 94.8%、30 歳代が 93.7%、40 歳代が 90.7%、50 歳代が 91.8%、60 歳代が 94.8%、70 歳以上が 88.0%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、すべてで『(14) 差別の問題は、差別を受ける人の側の問題であり、自分には関係がない』であり、10 歳代が 16.7%、20 歳代が 15.5%、30 歳代が 5.4%、40 歳代が 7.6%、50 歳代が 9.0%、60 歳代が 6.0%、70 歳以上が 10.3%となっている。なお、10 歳代は『(12) 差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい』も同率となっている。【表 2 - 1 - 2】

【表 2 - 1 - 2 性別・年齢別 差別に関する基本的な認識】

(1) 差別意識をもつことは、許されないものである

		(上段:人, 下段:%)							
		そう 思う	え ど ち ら か と い う	な い え ば そ う 思 わ い	ど ち ら か と い わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 ・ 回 答	合 計
市全体		250	328	57	48	37	6	726	
性別	男性	34.4	45.2	7.9	6.6	5.1	0.8	100.0	
	女性	103	129	24	22	13	1	292	
	その他、回答したくない	35.3	44.2	8.2	7.5	4.5	0.3	100.0	
	不明・無回答	133	186	29	23	21	4	396	
		33.6	47.0	7.3	5.8	5.3	1.0	100.0	
年齢別	10歳代	5	3	1	1	3	1	14	
	20歳代	35.7	21.4	7.1	7.1	21.4	7.1	100.0	
	30歳代	9	10	3	2	0	0	24	
	40歳代	33.3	33.3	16.7	16.7	0.0	0.0	100.0	
	50歳代	2	2	1	1	0	0	6	
	60歳代	17	29	8	3	1	0	58	
	70歳以上	29.3	50.0	13.8	5.2	1.7	0.0	100.0	
	不明・無回答	29	53	14	10	5	0	111	
		26.1	47.7	12.6	9.0	4.5	0.0	100.0	
		40	50	15	10	2	1	118	

(2) 差別行為を行うことは、許されないものである

		(上段:人, 下段:%)							
		そう 思う	え ど ち ら か と い う	な い え ば そ う 思 わ い	ど ち ら か と い わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 ・ 回 答	合 計
市全体		420	242	24	14	21	5	726	
性別	男性	57.9	33.3	3.3	1.9	2.9	0.7	100.0	
	女性	161	102	10	10	9	0	292	
	その他、回答したくない	55.1	34.9	3.4	3.4	3.1	0.0	100.0	
	不明・無回答	236	131	11	3	12	3	396	
		59.6	33.1	2.8	0.8	3.0	0.8	100.0	
年齢別	10歳代	8	4	1	0	0	0	14	
	20歳代	57.1	28.6	7.1	0.0	0.0	7.1	100.0	
	30歳代	15	5	2	1	0	1	24	
	40歳代	62.5	20.8	8.3	4.2	0.0	4.2	100.0	
	50歳代	4	1	1	0	0	0	6	
	60歳代	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0	
	70歳以上	35	20	2	0	1	0	58	
	不明・無回答	60.3	34.5	3.4	0.0	1.7	0.0	100.0	
		64	40	5	1	1	0	111	
		57.7	36.0	4.5	0.9	0.9	0.0	100.0	

(3) 差別をなくすために、行政が努力する必要がある

		(上段:人, 下段:%)							
		そう 思う	え ど ち ら か と い う	な い え ば そ う 思 わ い	ど ち ら か と い わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 ・ 回 答	合 計
市全体		320	247	71	33	47	8	726	
性別	男性	44.1	34.0	9.8	4.5	6.5	1.1	100.0	
	女性	131	93	32	24	10	2	292	
	その他、回答したくない	44.9	31.8	11.0	8.2	3.4	0.7	100.0	
	不明・無回答	172	141	34	9	36	4	396	
		43.4	35.6	8.6	2.3	9.1	1.0	100.0	
年齢別	10歳代	6	5	2	0	0	1	14	
	20歳代	42.9	35.7	14.3	0.0	0.0	7.1	100.0	
	30歳代	11	8	3	0	1	1	24	
	40歳代	45.8	33.3	12.5	0.0	4.2	4.2	100.0	
	50歳代	2	4	0	0	0	0	6	
	60歳代	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
	70歳以上	25	15	11	1	6	0	58	
	不明・無回答	43.1	25.9	19.0	1.7	10.3	0.0	100.0	
		43	39	18	4	7	0	111	
		38.7	35.1	16.2	3.6	6.3	0.0	100.0	

(4) 差別されている人は、まず、自分たちが差別されないよう努力する必要がある

		(上段:人, 下段:%)							
		そう 思う	え ど ち ら か と い う	な い え ば そ う 思 わ い	ど ち ら か と い わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 ・ 回 答	合 計
市全体		111	154	181	187	83	10	726	
性別	男性	15.3	21.2	24.9	25.8	11.4	1.4	100.0	
	女性	48	76	65	77	25	1	292	
	その他、回答したくない	16.4	26.0	22.3	26.4	8.6	0.3	100.0	
	不明・無回答	55	73	109	100	53	6	396	
		13.9	18.4	27.5	25.3	13.4	1.5	100.0	
年齢別	10歳代	1	1	2	4	5	1	14	
	20歳代	7.1	7.1	14.3	28.6	35.7	7.1	100.0	
	30歳代	7	4	5	6	0	2	24	
	40歳代	29.2	16.7	20.8	25.0	0.0	8.3	100.0	
	50歳代	2	0	1	3	0	0	6	
	60歳代	33.3	0.0	16.7	50.0	0.0	0.0	100.0	
	70歳以上	3	9	21	18	7	0	58	
	不明・無回答	5.2	15.5	36.2	31.0	12.1	0.0	100.0	
		11	15	37	36	10	2	111	
		9.9	13.5	33.3	32.4	9.0	1.8	100.0	

(5) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要である

		(上段:人, 下段:%)							
		そう 思う	え ど ち ら か と い う	な い え ば そ う 思 わ い	ど ち ら か と い わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 ・ 回 答	合 計
市全体		220	286	91	44	77	8	726	
性別	男性	30.3	39.4	12.5	6.1	10.6	1.1	100.0	
	女性	89	107	46	25	23	2	292	
	その他、回答したくない	30.5	36.6	15.8	8.6	7.9	0.7	100.0	
	不明・無回答	120	161	42	16	53	4	396	
		30.3	40.7	10.6	4.0	13.4	1.0	100.0	
年齢別	10歳代	3	6	1	2	1	1	14	
	20歳代	21.4	42.9	7.1	14.3	7.1	7.1	100.0	
	30歳代	8	12	2	1	0	1	24	
	40歳代	33.3	50.0	8.3	4.2	0.0	4.2	100.0	
	50歳代	2	3	0	0	1	0	6	
	60歳代	33.3	50.0	0.0	0.0	16.7	0.0	100.0	
	70歳以上	15	25	8	4	6	0	58	
	不明・無回答	25.9	43.1	13.8	6.9	10.3	0.0	100.0	
		29	53	14	5	10	0	111	
		26.1	47.7	12.6	4.5	9.0	0.0	100.0	

(6) 差別されている人々が、差別の現実や不当性を強く社会に訴える必要がある

		(上段:人, 下段:%)							
		そう 思う	え ど ち ら か と い う	な い え ば そ う 思 わ い	ど ち ら か と い わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 ・ 回 答	合 計
市全体		141	279	142	57	101	6	726	
性別	男性	19.4	38.4	19.6	7.9	13.9	0.8	100.0	
	女性	60	111	58	33	30	0	292	
	その他、回答したくない	20.5	38.0	19.9	11.3	10.3	0.0	100.0	
	不明・無回答	70	157	77	21	67	4	396	
		17.7	39.6	19.4	5.3	16.9	1.0	100.0	
年齢別	10歳代	3	2	4	2	2	1	14	
	20歳代	21.4	14.3	28.6	14.3	14.3	7.1	100.0	
	30歳代	8	9	3	1	2	1	24	
	40歳代	33.3	37.5	12.5	4.2	8.3	4.2	100.0	
	50歳代	3	2	1	0	0	0	6	
	60歳代	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	100.0	
	70歳以上	10	24	17	1	6	0	58	
	不明・無回答	17.2	41.4	29.3	1.7	10.3	0.0	100.0	
		14	39	31	10	17	0	111	
		12.6	35.1	27.9	9.0	15.3	0.0	100.0	

(13) どのような手段を使っても、差別を完全になくすことは困難である

		(上段:人、下段:%)						
		そう思う	え ば ど ち ら か と い う	な い え ば ど ち ら か と い わ い	ど ち ら か と い わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 回 答 ・ 合 計
性別	市全体	248 34.2	254 35.0	68 9.4	64 8.8	87 12.0	5 0.7	726 100.0
	男性	109 37.3	97 33.2	33 11.3	28 9.6	25 8.6	0 0.0	292 100.0
	女性	128 32.3	148 37.4	31 7.8	35 8.8	51 12.9	3 0.8	396 100.0
	その他、回答したくない	3 21.4	1 7.1	3 21.4	0 0.0	6 42.9	1 7.1	14 100.0
	不明・無回答	8 33.3	8 33.3	1 4.2	1 4.2	5 20.8	1 4.2	24 100.0
年齢別	10歳代	4 66.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 100.0
	20歳代	29 50.0	18 31.0	5 8.6	3 5.2	3 5.2	0 0.0	58 100.0
	30歳代	39 35.1	43 38.7	12 10.8	7 6.3	10 9.0	0 0.0	111 100.0
	40歳代	51 43.2	29 24.6	14 11.9	10 8.5	13 11.0	1 0.8	118 100.0
	50歳代	48 39.3	50 41.0	7 5.7	8 6.6	9 7.4	0 0.0	122 100.0
	60歳代	32 27.6	48 41.4	14 12.1	12 10.3	10 8.6	0 0.0	116 100.0
	70歳以上	37 21.1	59 33.7	15 8.6	23 13.1	39 22.3	2 1.1	175 100.0
	不明・無回答	8 40.0	5 25.0	1 5.0	1 5.0	3 15.0	2 10.0	20 100.0

(14) 差別の問題は、差別を受ける人の側の問題であり、自分には関係がない

		(上段:人、下段:%)						
		そう思う	え ば ど ち ら か と い う	な い え ば ど ち ら か と い わ い	ど ち ら か と い わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 回 答 ・ 合 計
		23 3.2	42 5.8	164 22.6	406 55.9	85 11.7	6 0.8	726 100.0
		13 4.5	22 7.5	69 23.6	158 54.1	30 10.3	0 0.0	292 100.0
		6 1.5	18 4.5	87 22.0	230 58.1	51 12.9	4 1.0	396 100.0
		1 7.1	0 0.0	4 28.6	7 50.0	1 7.1	1 7.1	14 100.0
		3 12.5	2 8.3	4 16.7	11 45.8	3 12.5	1 4.2	24 100.0
		1 16.7	0 0.0	1 16.7	4 66.7	0 0.0	0 0.0	6 100.0
		0 0.0	9 15.5	18 31.0	25 43.1	6 10.3	0 0.0	58 100.0
		3 2.7	3 2.7	31 27.9	64 57.7	10 9.0	0 0.0	111 100.0
		4 3.4	5 4.2	27 22.9	75 63.6	6 5.1	1 0.8	118 100.0
		5 4.1	6 4.9	24 19.7	79 64.8	8 6.6	0 0.0	122 100.0
		2 1.7	5 4.3	28 24.1	66 56.9	15 12.9	0 0.0	116 100.0
		5 2.9	13 7.4	32 18.3	83 47.4	39 22.3	3 1.7	175 100.0
		3 3	1 1	3 3	10 10	1 1	2 2	20 100.0
		15.0 15.0	5.0 5.0	15.0 15.0	50.0 50.0	5.0 5.0	10.0 10.0	100.0 100.0

職業別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では『(2) 差別行為を行うことは、許されないものである』であり、数値は各々91.2%、94.1%、94.6%、88.7%となっており、「公務員、教員」では『(9)差別意識をなくし人権意識を高めるための啓発や教育を行う必要がある』で100%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では『(14) 差別の問題は、差別を受ける人の側の問題であり、自分には関係がない』であり、数値は各々5.9%、9.6%、10.8%、7.6%となっており、「公務員、教員」では『(12) 差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい』で5.0%となっている。【表2 - 1 - 3】

【表2 - 1 - 3 職業別 差別に関する基本的な認識】

(1) 差別意識をもつことは、許されないものである

	(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	えどち ば どちら が 思う う い	なえど い ば どちら が 思 わ い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	250 34.4	328 45.2	57 7.9	48 6.6	37 5.1	6 0.8	726 100.0
自営業	36 35.3	43 42.2	10 9.8	7 6.9	6 5.9	0 0.0	102 100.0
民間正規雇用	55 29.4	95 50.8	17 9.1	16 8.6	4 2.1	0 0.0	187 100.0
公務員、教員	5 25.0	6 30.0	2 10.0	6 30.0	1 5.0	0 0.0	20 100.0
非正規雇用	49 33.1	73 49.3	9 6.1	8 5.4	7 4.7	2 1.4	148 100.0
家事専業、学生、無職	96 38.7	106 42.7	15 6.0	9 3.6	19 7.7	3 1.2	248 100.0
不明・無回答	9 42.9	5 23.8	4 19.0	2 9.5	0 0.0	1 4.8	21 100.0

(2) 差別行為を行うことは、許されないものである

	(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	えどち ば どちら が 思 う う い	なえど い ば どちら が 思 わ い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	420 57.9	242 33.3	24 3.3	14 1.9	21 2.9	5 0.7	726 100.0
自営業	57 55.9	36 35.3	5 4.9	1 1.0	3 2.9	0 0.0	102 100.0
民間正規雇用	109 58.3	67 35.8	5 2.7	4 2.1	2 1.1	0 0.0	187 100.0
公務員、教員	14 70.0	3 15.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	20 100.0
非正規雇用	83 56.1	57 38.5	2 1.4	5 3.4	1 0.7	0 0.0	148 100.0
家事専業、学生、無職	144 58.1	76 30.6	8 3.2	3 1.2	14 5.6	3 1.2	248 100.0
不明・無回答	13 61.9	3 14.3	1 4.8	1 4.8	1 4.8	2 9.5	21 100.0

(3) 差別をなくすために、行政が努力する必要がある

	(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	えどち ば どちら が 思 う う い	なえど い ば どちら が 思 わ い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	320 44.1	247 34.0	71 9.8	33 4.5	47 6.5	8 1.1	726 100.0
自営業	49 48.0	34 33.3	11 10.8	3 2.9	5 4.9	0 0.0	102 100.0
民間正規雇用	76 40.6	62 33.2	25 13.4	17 9.1	5 2.7	2 1.1	187 100.0
公務員、教員	7 35.0	10 50.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	20 100.0
非正規雇用	67 45.3	53 35.8	19 12.8	2 1.4	6 4.1	1 0.7	148 100.0
家事専業、学生、無職	112 45.2	81 32.7	12 4.8	10 4.0	30 12.1	3 1.2	248 100.0
不明・無回答	9 42.9	7 33.3	3 14.3	0 0.0	0 0.0	2 9.5	21 100.0

(4) 差別されている人は、まず、自分たちが差別されないよう努力する必要がある

	(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	えどち ば どちら が 思 う う い	なえど い ば どちら が 思 わ い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	111 15.3	154 21.2	181 24.9	187 25.8	83 11.4	10 1.4	726 100.0
自営業	17 16.7	30 29.4	25 24.5	23 22.5	6 5.9	1 1.0	102 100.0
民間正規雇用	21 11.2	43 23.0	63 33.7	43 23.0	16 8.6	1 0.5	187 100.0
公務員、教員	1 5.0	2 10.0	6 30.0	11 55.0	0 0.0	0 0.0	20 100.0
非正規雇用	16 10.8	24 16.2	34 23.0	54 36.5	19 12.8	1 0.7	148 100.0
家事専業、学生、無職	51 20.6	52 21.0	48 19.4	51 20.6	41 16.5	5 2.0	248 100.0
不明・無回答	5 23.8	3 14.3	5 23.8	5 23.8	1 4.8	2 9.5	21 100.0

(5) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要である

(上段:人、下段:%)

	そう思う	えどち ば ら か か と う い	な え ど ち ば ら か か と わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 回 答	合 計
市全体	220	286	91	44	77	8	726
	30.3	39.4	12.5	6.1	10.6	1.1	100.0
自営業	29	41	16	3	12	1	102
	28.4	40.2	15.7	2.9	11.8	1.0	100.0
民間正規雇用	52	77	27	18	12	1	187
	27.8	41.2	14.4	9.6	6.4	0.5	100.0
公務員、教員	5	9	1	2	2	1	20
	25.0	45.0	5.0	10.0	10.0	5.0	100.0
非正規雇用	49	62	18	8	10	1	148
	33.1	41.9	12.2	5.4	6.8	0.7	100.0
家事専業、学生、無職	79	86	29	11	41	2	248
	31.9	34.7	11.7	4.4	16.5	0.8	100.0
不明・無回答	6	11	0	2	0	2	21
	28.6	52.4	0.0	9.5	0.0	9.5	100.0

(6) 差別されている人々が、差別の現実や不当性を強く社会に訴える必要がある

(上段:人、下段:%)

	そう思う	えどち ば ら か か と う い	な え ど ち ば ら か か と わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 回 答	合 計
市全体	141	279	142	57	101	6	726
	19.4	38.4	19.6	7.9	13.9	0.8	100.0
自営業	23	41	17	7	12	2	102
	22.5	40.2	16.7	6.9	11.8	2.0	100.0
民間正規雇用	28	72	53	22	12	0	187
	15.0	38.5	28.3	11.8	6.4	0.0	100.0
公務員、教員	0	9	5	3	3	0	20
	0.0	45.0	25.0	15.0	15.0	0.0	100.0
非正規雇用	33	58	24	10	23	0	148
	22.3	39.2	16.2	6.8	15.5	0.0	100.0
家事専業、学生、無職	50	94	40	13	49	2	248
	20.2	37.9	16.1	5.2	19.8	0.8	100.0
不明・無回答	7	5	3	2	2	2	21
	33.3	23.8	14.3	9.5	9.5	9.5	100.0

(7) 差別は法律で禁止する必要がある

(上段:人、下段:%)

	そう思う	えどち ば ら か か と う い	な え ど ち ば ら か か と わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 回 答	合 計
市全体	164	212	145	81	117	7	726
	22.6	29.2	20.0	11.2	16.1	1.0	100.0
自営業	27	27	19	12	16	1	102
	26.5	26.5	18.6	11.8	15.7	1.0	100.0
民間正規雇用	36	59	54	22	16	0	187
	19.3	31.6	28.9	11.8	8.6	0.0	100.0
公務員、教員	2	6	5	4	3	0	20
	10.0	30.0	25.0	20.0	15.0	0.0	100.0
非正規雇用	31	45	31	12	29	0	148
	20.9	30.4	20.9	8.1	19.6	0.0	100.0
家事専業、学生、無職	63	70	34	29	48	4	248
	25.4	28.2	13.7	11.7	19.4	1.6	100.0
不明・無回答	5	5	2	2	5	2	21
	23.8	23.8	9.5	9.5	23.8	9.5	100.0

(8) 差別の原因には、差別されている人の側に問題があることも多い

(上段:人、下段:%)

	そう思う	えどち ば ら か か と う い	な え ど ち ば ら か か と わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 回 答	合 計
市全体	53	154	179	201	131	8	726
	7.3	21.2	24.7	27.7	18.0	1.1	100.0
自営業	12	22	26	27	14	1	102
	11.8	21.6	25.5	26.5	13.7	1.0	100.0
民間正規雇用	13	31	65	50	28	0	187
	7.0	16.6	34.8	26.7	15.0	0.0	100.0
公務員、教員	1	3	3	11	2	0	20
	5.0	15.0	15.0	55.0	10.0	0.0	100.0
非正規雇用	12	31	35	42	27	1	148
	8.1	20.9	23.6	28.4	18.2	0.7	100.0
家事専業、学生、無職	15	64	47	63	55	4	248
	6.0	25.8	19.0	25.4	22.2	1.6	100.0
不明・無回答	0	3	3	8	5	2	21
	0.0	14.3	14.3	38.1	23.8	9.5	100.0

(9) 差別意識をなくし人権意識を高めるための啓発や教育を行う必要がある

(上段:人、下段:%)

	そう思う	えどち ば ら か か と う い	な え ど ち ば ら か か と わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 回 答	合 計
市全体	298	286	44	23	69	6	726
	41.0	39.4	6.1	3.2	9.5	0.8	100.0
自営業	51	31	8	2	10	0	102
	50.0	30.4	7.8	2.0	9.8	0.0	100.0
民間正規雇用	85	71	12	12	7	0	187
	45.5	38.0	6.4	6.4	3.7	0.0	100.0
公務員、教員	13	7	0	0	0	0	20
	65.0	35.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
非正規雇用	57	67	6	4	13	1	148
	38.5	45.3	4.1	2.7	8.8	0.7	100.0
家事専業、学生、無職	82	105	18	4	36	3	248
	33.1	42.3	7.3	1.6	14.5	1.2	100.0
不明・無回答	10	5	0	1	3	2	21
	47.6	23.8	0.0	4.8	14.3	9.5	100.0

(10) 差別問題についてきちんと理解するためには、差別されている人々との交流を深める必要がある

(上段:人、下段:%)

	そう思う	えどち ば ら か か と う い	な え ど ち ば ら か か と わ い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い	無 不 明 回 答	合 計
市全体	145	285	112	63	113	8	726
	20.0	39.3	15.4	8.7	15.6	1.1	100.0
自営業	27	39	11	6	17	2	102
	26.5	38.2	10.8	5.9	16.7	2.0	100.0
民間正規雇用	37	72	36	24	18	0	187
	19.8	38.5	19.3	12.8	9.6	0.0	100.0
公務員、教員	7	8	5	0	0	0	20
	35.0	40.0	25.0	0.0	0.0	0.0	100.0
非正規雇用	27	56	28	15	22	0	148
	18.2	37.8	18.9	10.1	14.9	0.0	100.0
家事専業、学生、無職	42	101	30	17	54	4	248
	16.9	40.7	12.1	6.9	21.8	1.6	100.0
不明・無回答	5	9	2	1	2	2	21
	23.8	42.9	9.5	4.8	9.5	9.5	100.0

(11) 差別されている人の話をきちんと聴く必要がある

	(上段:人、下段:%)						
	そう思う	えど ち ら か と い	な い え ど ち ら か と い	え ど ち ら か と い	わ か ら な い	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	275	320	52	25	49	5	726
	37.9	44.1	7.2	3.4	6.7	0.7	100.0
自営業	47	38	9	1	6	1	102
	46.1	37.3	8.8	1.0	5.9	1.0	100.0
民間正規雇用	66	88	14	13	6	0	187
	35.3	47.1	7.5	7.0	3.2	0.0	100.0
公務員、教員	10	8	2	0	0	0	20
	50.0	40.0	10.0	0.0	0.0	0.0	100.0
非正規雇用	65	67	9	2	5	0	148
	43.9	45.3	6.1	1.4	3.4	0.0	100.0
家事専業、学生、無職	78	111	17	9	31	2	248
	31.5	44.8	6.9	3.6	12.5	0.8	100.0
不明・無回答	9	8	1	0	1	2	21
	42.9	38.1	4.8	0.0	4.8	9.5	100.0

(12) 差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい

	(上段:人、下段:%)						
	そう思う	えど ち ら か と い	な い え ど ち ら か と い	え ど ち ら か と い	わ か ら な い	無 不 明 答 ・	合 計
	37	78	194	313	96	8	726
	5.1	10.7	26.7	43.1	13.2	1.1	100.0
	5	12	26	43	16	0	102
	4.9	11.8	25.5	42.2	15.7	0.0	100.0
	9	20	63	82	12	1	187
	4.8	10.7	33.7	43.9	6.4	0.5	100.0
	0	1	4	13	2	0	20
	0.0	5.0	20.0	65.0	10.0	0.0	100.0
	7	12	40	74	15	0	148
	4.7	8.1	27.0	50.0	10.1	0.0	100.0
	15	32	58	90	48	5	248
	6.0	12.9	23.4	36.3	19.4	2.0	100.0
	1	1	3	11	3	2	21
	4.8	4.8	14.3	52.4	14.3	9.5	100.0

(13) どのような手段を使っても、差別を完全になくすことは困難である

	(上段:人、下段:%)						
	そう思う	えど ち ら か と い	な い え ど ち ら か と い	え ど ち ら か と い	わ か ら な い	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	248	254	68	64	87	5	726
	34.2	35.0	9.4	8.8	12.0	0.7	100.0
自営業	39	33	9	12	9	0	102
	38.2	32.4	8.8	11.8	8.8	0.0	100.0
民間正規雇用	71	71	24	13	8	0	187
	38.0	38.0	12.8	7.0	4.3	0.0	100.0
公務員、教員	5	9	2	1	3	0	20
	25.0	45.0	10.0	5.0	15.0	0.0	100.0
非正規雇用	52	50	19	9	18	0	148
	35.1	33.8	12.8	6.1	12.2	0.0	100.0
家事専業、学生、無職	74	85	13	27	46	3	248
	29.8	34.3	5.2	10.9	18.5	1.2	100.0
不明・無回答	7	6	1	2	3	2	21
	33.3	28.6	4.8	9.5	14.3	9.5	100.0

(14) 差別の問題は、差別を受ける人の側の問題であり、自分には関係がない

	(上段:人、下段:%)						
	そう思う	えど ち ら か と い	な い え ど ち ら か と い	え ど ち ら か と い	わ か ら な い	無 不 明 答 ・	合 計
	23	42	164	406	85	6	726
	3.2	5.8	22.6	55.9	11.7	0.8	100.0
	2	4	22	64	10	0	102
	2.0	3.9	21.6	62.7	9.8	0.0	100.0
	9	9	50	110	9	0	187
	4.8	4.8	26.7	58.8	4.8	0.0	100.0
	1	1	4	14	0	0	20
	5.0	5.0	20.0	70.0	0.0	0.0	100.0
	3	13	32	86	14	0	148
	2.0	8.8	21.6	58.1	9.5	0.0	100.0
	5	14	52	123	50	4	248
	2.0	5.6	21.0	49.6	20.2	1.6	100.0
	3	1	4	9	2	2	21
	14.3	4.8	19.0	42.9	9.5	9.5	100.0

学歴別でみると、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、すべてで『(2) 差別行為を行うことは、許されないものである』であり、「中学卒」84.5%、「高校卒」90.4%、「短大卒」93.6%、「大学卒」93.2%となっている。

一方で、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、すべての学歴で『(14) 差別の問題は、差別を受ける人の側の問題であり、自分には関係がない』であり、「中学卒」7.0%、「高校卒」11.2%、「短大卒」8.1%、「大学卒」6.3%となっている。

【表2-1-4】

【表2-1-4 学歴別 差別に関する基本的な認識】

(1)差別意識をもつことは、許されないものである

	(上段:人、下段:%)						
	そう 思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 不 回 答 ・	合 計
市全体	250 34.4	328 45.2	57 7.9	48 6.6	37 5.1	6 0.8	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	24 33.8	29 40.8	3 4.2	2 2.8	12 16.9	1 1.4	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	94 36.2	120 46.2	22 8.5	10 3.8	12 4.6	2 0.8	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	56 32.6	80 46.5	12 7.0	10 5.8	12 7.0	2 1.2	172 100.0
4.大学、大学院	62 32.5	89 46.6	16 8.4	23 12.0	1 0.5	0 0.0	191 100.0
5.その他	4 36.4	5 45.5	1 9.1	1 9.1	0 0.0	0 0.0	11 100.0
不明・無回答	10 47.6	5 23.8	3 14.3	2 9.5	0 0.0	1 4.8	21 100.0

(2) 差別行為を行うことは、許されないものである

	(上段:人、下段:%)						
	そう 思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 不 回 答 ・	合 計
市全体	420 57.9	242 33.3	24 3.3	14 1.9	21 2.9	5 0.7	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	38 53.5	22 31.0	2 2.8	0 0.0	9 12.7	0 0.0	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	144 55.4	91 35.0	9 3.5	5 1.9	9 3.5	2 0.8	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	106 61.6	55 32.0	6 3.5	2 1.2	2 1.2	1 0.6	172 100.0
4.大学、大学院	110 57.6	68 35.6	6 3.1	6 3.1	1 0.5	0 0.0	191 100.0
5.その他	8 72.7	3 27.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	11 100.0
不明・無回答	14 66.7	3 14.3	1 4.8	1 4.8	0 0.0	2 9.5	21 100.0

(3) 差別をなくすために、行政が努力する必要がある

	(上段:人、下段:%)						
	そう 思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 不 回 答 ・	合 計
市全体	320 44.1	247 34.0	71 9.8	33 4.5	47 6.5	8 1.1	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	29 40.8	22 31.0	4 5.6	2 2.8	14 19.7	0 0.0	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	127 48.8	78 30.0	23 8.8	11 4.2	18 6.9	3 1.2	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	69 40.1	60 34.9	23 13.4	10 5.8	8 4.7	2 1.2	172 100.0
4.大学、大学院	81 42.4	77 40.3	19 9.9	9 4.7	4 2.1	1 0.5	191 100.0
5.その他	4 36.4	3 27.3	0 0.0	1 9.1	3 27.3	0 0.0	11 100.0
不明・無回答	10 47.6	7 33.3	2 9.5	0 0.0	0 0.0	2 9.5	21 100.0

(4) 差別されている人は、まず、自分たちが差別されないよう努力する必要がある

	(上段:人、下段:%)						
	そう 思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 不 回 答 ・	合 計
市全体	111 15.3	154 21.2	181 24.9	187 25.8	83 11.4	10 1.4	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	11 15.5	12 16.9	18 25.4	12 16.9	18 25.4	0 0.0	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	58 22.3	49 18.8	50 19.2	71 27.3	27 10.4	5 1.9	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	19 11.0	40 23.3	49 28.5	46 26.7	17 9.9	1 0.6	172 100.0
4.大学、大学院	16 8.4	46 24.1	56 29.3	53 27.7	18 9.4	2 1.0	191 100.0
5.その他	2 18.2	3 27.3	3 27.3	0 0.0	3 27.3	0 0.0	11 100.0
不明・無回答	5 23.8	4 19.0	5 23.8	5 23.8	0 0.0	2 9.5	21 100.0

(5) 差別を受けてきた人に対しては、格差をなくすために行政の支援が必要である

	(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	えど ばち そら うが 思と うい	なえど いばち そら うが 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無不 不明 回答・	合計
市全体	220	286	91	44	77	8	726
	30.3	39.4	12.5	6.1	10.6	1.1	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	20	22	9	2	17	1	71
	28.2	31.0	12.7	2.8	23.9	1.4	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	95	85	40	16	23	1	260
	36.5	32.7	15.4	6.2	8.8	0.4	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	43	81	17	11	18	2	172
	25.0	47.1	9.9	6.4	10.5	1.2	100.0
4.大学、大学院	55	82	22	13	17	2	191
	28.8	42.9	11.5	6.8	8.9	1.0	100.0
5.その他	2	4	3	0	2	0	11
	18.2	36.4	27.3	0.0	18.2	0.0	100.0
不明・無回答	5	12	0	2	0	2	21
	23.8	57.1	0.0	9.5	0.0	9.5	100.0

(6) 差別されている人々が、差別の現実や不当性を強く社会に訴える必要がある

	(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	えど ばち そら うが 思と うい	なえど いばち そら うが 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無不 不明 回答・	合計
市全体	141	279	142	57	101	6	726
	19.4	38.4	19.6	7.9	13.9	0.8	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	12	23	15	2	19	0	71
	16.9	32.4	21.1	2.8	26.8	0.0	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	62	98	37	25	37	1	260
	23.8	37.7	14.2	9.6	14.2	0.4	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	29	63	42	13	24	1	172
	16.9	36.6	24.4	7.6	14.0	0.6	100.0
4.大学、大学院	28	86	42	15	18	2	191
	14.7	45.0	22.0	7.9	9.4	1.0	100.0
5.その他	3	3	3	1	1	0	11
	27.3	27.3	27.3	9.1	9.1	0.0	100.0
不明・無回答	7	6	3	1	2	2	21
	33.3	28.6	14.3	4.8	9.5	9.5	100.0

(7) 差別は法律で禁止する必要がある

	(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	えど ばち そら うが 思と うい	なえど いばち そら うが 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無不 不明 回答・	合計
市全体	164	212	145	81	117	7	726
	22.6	29.2	20.0	11.2	16.1	1.0	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	17	15	12	6	20	1	71
	23.9	21.1	16.9	8.5	28.2	1.4	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	64	75	46	26	47	2	260
	24.6	28.8	17.7	10.0	18.1	0.8	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	36	49	43	18	25	1	172
	20.9	28.5	25.0	10.5	14.5	0.6	100.0
4.大学、大学院	38	64	40	28	20	1	191
	19.9	33.5	20.9	14.7	10.5	0.5	100.0
5.その他	4	3	2	1	1	0	11
	36.4	27.3	18.2	9.1	9.1	0.0	100.0
不明・無回答	5	6	2	2	4	2	21
	23.8	28.6	9.5	9.5	19.0	9.5	100.0

(8) 差別の原因には、差別されている人の側に問題があることも多い

	(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	えど ばち そら うが 思と うい	なえど いばち そら うが 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無不 不明 回答・	合計
市全体	53	154	179	201	131	8	726
	7.3	21.2	24.7	27.7	18.0	1.1	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	6	18	12	18	17	0	71
	8.5	25.4	16.9	25.4	23.9	0.0	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	24	64	54	66	49	3	260
	9.2	24.6	20.8	25.4	18.8	1.2	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	9	35	44	53	29	2	172
	5.2	20.3	25.6	30.8	16.9	1.2	100.0
4.大学、大学院	12	28	65	55	30	1	191
	6.3	14.7	34.0	28.8	15.7	0.5	100.0
5.その他	2	5	1	1	2	0	11
	18.2	45.5	9.1	9.1	18.2	0.0	100.0
不明・無回答	0	4	3	8	4	2	21
	0.0	19.0	14.3	38.1	19.0	9.5	100.0

(9) 差別意識をなくし人権意識を高めるための啓発や教育を行う必要がある

	(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	えど ばち そら うが 思と うい	なえど いばち そら うが 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無不 不明 回答・	合計
市全体	298	286	44	23	69	6	726
	41.0	39.4	6.1	3.2	9.5	0.8	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	16	27	5	2	19	2	71
	22.5	38.0	7.0	2.8	26.8	2.8	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	95	109	16	12	27	1	260
	36.5	41.9	6.2	4.6	10.4	0.4	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	83	60	11	3	14	1	172
	48.3	34.9	6.4	1.7	8.1	0.6	100.0
4.大学、大学院	90	80	10	5	6	0	191
	47.1	41.9	5.2	2.6	3.1	0.0	100.0
5.その他	4	4	2	0	1	0	11
	36.4	36.4	18.2	0.0	9.1	0.0	100.0
不明・無回答	10	6	0	1	2	2	21
	47.6	28.6	0.0	4.8	9.5	9.5	100.0

(10) 差別問題についてきちんと理解するためには、差別されている人々との交流を深める必要がある

	(上段:人, 下段:%)						
	そう思う	えど ばち そら うが 思と うい	なえど いばち そら うが 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無不 不明 回答・	合計
市全体	145	285	112	63	113	8	726
	20.0	39.3	15.4	8.7	15.6	1.1	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	14	24	11	1	21	0	71
	19.7	33.8	15.5	1.4	29.6	0.0	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	53	105	34	30	36	2	260
	20.4	40.4	13.1	11.5	13.8	0.8	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	29	67	27	16	31	2	172
	16.9	39.0	15.7	9.3	18.0	1.2	100.0
4.大学、大学院	41	74	38	13	23	2	191
	21.5	38.7	19.9	6.8	12.0	1.0	100.0
5.その他	4	5	0	2	0	0	11
	36.4	45.0	0.0	18.2	0.0	0.0	100.0
不明・無回答	4	10	2	1	2	2	21
	19.0	47.6	9.5	4.8	9.5	9.5	100.0

(11) 差別されている人の話をきちんと聴く必要がある

	(上段:人, 下段:%)						合計
	そう思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 不 回 明 答 ・	
市全体	275	320	52	25	49	5	726
	37.9	44.1	7.2	3.4	6.7	0.7	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	20	31	5	1	14	0	71
	28.2	43.7	7.0	1.4	19.7	0.0	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	88	122	16	14	19	1	260
	33.8	46.9	6.2	5.4	7.3	0.4	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	73	73	13	5	7	1	172
	42.4	42.4	7.6	2.9	4.1	0.6	100.0
4.大学、大学院	79	83	15	5	8	1	191
	41.4	43.5	7.9	2.6	4.2	0.5	100.0
5.その他	7	2	2	0	0	0	11
	63.6	18.2	18.2	0.0	0.0	0.0	100.0
不明・無回答	8	9	1	0	1	2	21
	38.1	42.9	4.8	0.0	4.8	9.5	100.0

(13) どのような手段を使っても、差別を完全になくすことは困難である

	(上段:人, 下段:%)						合計
	そう思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 不 回 明 答 ・	
市全体	248	254	68	64	87	5	726
	34.2	35.0	9.4	8.8	12.0	0.7	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	18	21	8	8	16	0	71
	25.4	29.6	11.3	11.3	22.5	0.0	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	86	93	21	24	34	2	260
	33.1	35.8	8.1	9.2	13.1	0.8	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	56	60	19	15	21	1	172
	32.6	34.9	11.0	8.7	12.2	0.6	100.0
4.大学、大学院	76	71	18	14	12	0	191
	39.8	37.2	9.4	7.3	6.3	0.0	100.0
5.その他	6	2	1	1	1	0	11
	54.5	18.2	9.1	9.1	9.1	0.0	100.0
不明・無回答	6	7	1	2	3	2	21
	28.6	33.3	4.8	9.5	14.3	9.5	100.0

(12) 差別があることを口に出さないで、そっとしておけばよい

	(上段:人, 下段:%)						合計
	そう思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 不 回 明 答 ・	
市全体	37	78	194	313	96	8	726
	5.1	10.7	26.7	43.1	13.2	1.1	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	4	10	10	26	20	1	71
	5.6	14.1	14.1	36.6	28.2	1.4	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	24	31	67	100	34	4	260
	9.2	11.9	25.8	38.5	13.1	1.5	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	4	13	58	75	21	1	172
	2.3	7.6	33.7	43.6	12.2	0.6	100.0
4.大学、大学院	4	21	53	94	19	0	191
	2.1	11.0	27.7	49.2	9.9	0.0	100.0
5.その他	0	1	3	7	0	0	11
	0.0	9.1	27.3	63.6	0.0	0.0	100.0
不明・無回答	1	2	3	11	2	2	21
	4.8	9.5	14.3	52.4	9.5	9.5	100.0

(14) 差別の問題は、差別を受ける人の側の問題であり、自分には関係がない

	(上段:人, 下段:%)						合計
	そう思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	わ か ら な い	無 不 回 明 答 ・	
市全体	23	42	164	406	85	6	726
	3.2	5.8	22.6	55.9	11.7	0.8	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	1	4	12	31	23	0	71
	1.4	5.6	16.9	43.7	32.4	0.0	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	11	18	57	140	31	3	260
	4.2	6.9	21.9	53.8	11.9	1.2	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	2	12	35	106	16	1	172
	1.2	7.0	20.3	61.6	9.3	0.6	100.0
4.大学、大学院	6	6	54	112	13	0	191
	3.1	3.1	28.3	58.6	6.8	0.0	100.0
5.その他	0	0	2	8	1	0	11
	0.0	0.0	18.2	72.7	9.1	0.0	100.0
不明・無回答	3	2	4	9	1	2	21
	14.3	9.5	19.0	42.9	4.8	9.5	100.0

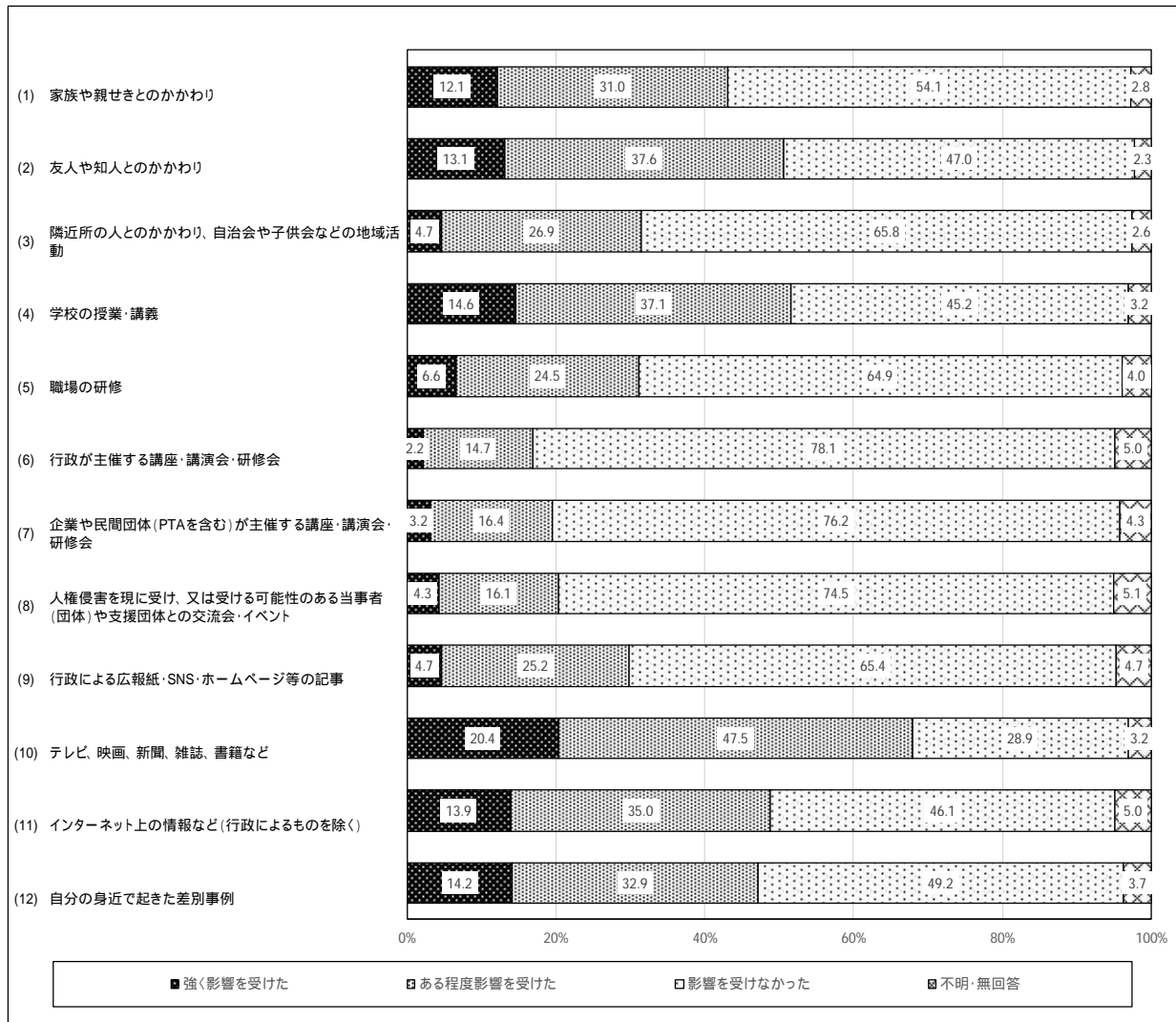
2 - 2 . 差別に関する考え方に影響を受けた程度

問4 問3の回答に関して、あなたが、差別というものの考え方について影響を受けた程度に関して(1)～(12)のそれぞれの項目についてお答えください。(それぞれ1つに)

【表2 - 2 - 1 差別に関する考え方に影響を受けた程度】

	(上段:人、下段:%)				合計
	け強 たく 影 響 を 受	を あ る 受 け 程 度 影 響	か 影 っ 響 た を 受 け な	無 不 回 答 ・ 明 答	
(1) 家族や親せきとのかかわり	88	225	393	20	726
	12.1	31.0	54.1	2.8	100.0
(2) 友人や知人とのかかわり	95	273	341	17	726
	13.1	37.6	47.0	2.3	100.0
(3) 隣近所の人とのかかわり、自治会や子供会などの地域活動	34	195	478	19	726
	4.7	26.9	65.8	2.6	100.0
(4) 学校の授業・講義	106	269	328	23	726
	14.6	37.1	45.2	3.2	100.0
(5) 職場の研修	48	178	471	29	726
	6.6	24.5	64.9	4.0	100.0
(6) 行政が主催する講座・講演会・研修会	16	107	567	36	726
	2.2	14.7	78.1	5.0	100.0
(7) 企業や民間団体(PTAを含む)が主催する講座・講演会・研修会	23	119	553	31	726
	3.2	16.4	76.2	4.3	100.0
(8) 人権侵害を現に受け、又は受ける可能性のある当事者(団体)や支援団体との交流会・イベント	31	117	541	37	726
	4.3	16.1	74.5	5.1	100.0
(9) 行政による広報紙・SNS・ホームページ等の記事	34	183	475	34	726
	4.7	25.2	65.4	4.7	100.0
(10) テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍など	148	345	210	23	726
	20.4	47.5	28.9	3.2	100.0
(11) インターネット上の情報など(行政によるものを除く)	101	254	335	36	726
	13.9	35.0	46.1	5.0	100.0
(12) 自分の身近で起きた差別事例	103	239	357	27	726
	14.2	32.9	49.2	3.7	100.0

【図2 - 2 差別に関する考え方に影響を受けた程度】



差別という考え方へ影響を受けた程度について尋ねたところ、「強く影響を受けた」「ある程度影響を受けた」と答えた人の合計の割合は、『(10) テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍など』が67.9%と最も高く、次いで『(4) 学校の授業・講義』が51.7%、『(2) 友人や知人とのかかわり』が50.7%となっている。

一方で、「影響を受けなかった」と答えた人の割合は、『(6) 行政が主催する講座・講演会・研修会』が78.1%と最も高く、次いで『(7) 企業や民間団体(PTAを含む)が主催する講座・講演会・研修会』が76.2%、『(8) 人権侵害を現に受け、又は受ける可能性のある当事者(団体)や支援団体との交流会・イベント』が74.5%、となっている。

性別でみると、「強く影響を受けた」「ある程度影響を受けた」と答えた人の合計の割合は、男性では『(10) テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍など』が64.7%と最も高く、次いで『(2) 友人や知人とのかかわり』が51.4%、『(12) 自分の身近で起きた差別事例』が48.3%となっている。

女性では『(10) テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍など』が69.9%と最も高く、次いで『(4) 学校の授業・講義』が54.8%、『(11) インターネット上の情報など（行政によるものを除く）』が50.3%となっている。

一方で、「影響を受けなかった」と答えた人の割合は、男性、女性ともに『(6)行政が主催する講座・講演会・研修会』が最も高く、次いで『(7)企業や民間団体（PTAを含む）が主催する講座・講演会・研修会』、『(8)人権侵害を現に受け、又は受ける可能性のある当事者（団体）や支援団体との交流会・イベント』であり、数値は男性が78.8%、76.4%、75.7%、女性が78.8%、77.3%、75.0%となっている。

年齢別でみると、「強く影響を受けた」「ある程度影響を受けた」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、10歳代では『(11) インターネット上の情報など（行政によるものを除く）』で83.3%、40歳代では『(4) 学校の授業・講義』で71.2%、20歳代、30歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では『(10) テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍など』であり、数値は各々77.6%、79.3%、74.6%、75.0%、47.4%となっている。

一方で、「影響を受けなかった」と答えた人の割合が最も高いのは、10歳代では『(3)隣近所の人とのかかわり、自治会や子供会などの地域活動』、『(5)職場の研修』、『(6)行政が主催する講座・講演会・研修会』、『(7)企業や民間団体（PTAを含む）が主催する講座・講演会・研修会』、『(8)人権侵害を現に受け、又は受ける可能性のある当事者（団体）や支援団体との交流会・イベント』、『(9)行政による広報紙・SNS・ホームページ等の記事』、『(12)自分の身近で起きた差別事例』で同率の50.0%となっている。20歳代では『(7)企業や民間団体（PTAを含む）が主催する講座・講演会・研修会』で8.28%、30歳代、40歳代、60歳代では『(6)行政が主催する講座・講演会・研修会』であり、数値は各々87.4%、84.7%、75.9%、50歳代では『(8)人権侵害を現に受け、又は受ける可能性のある当事者（団体）や支援団体との交流会・イベント』で82.8%、70歳以上では『(3)隣近所の人とのかかわり、自治会や子供会などの地域活動』で77.7%となっている。【表2 - 2 - 2】

【表 2 - 2 - 2 性別・年齢別 差別に関する考え方に影響を受けた程度】

(1) 家族や親せきとのかわり

		(上段:人、下段:%)				
		受強く影響を受けた	ある程度影響を受けた	なにか影響を受けた	無回答・不明	合計
性別	市全体	88	225	393	20	726
	男性	12.1	31.0	54.1	2.8	100.0
	女性	32	91	164	5	292
	その他、回答したくない	11.0	31.2	56.2	1.7	100.0
	不明・無回答	49	126	210	11	396
		12.4	31.8	53.0	2.8	100.0
年齢別	10歳代	3	3	7	1	14
	20歳代	21.4	21.4	50.0	7.1	100.0
	30歳代	4	5	12	3	24
	40歳代	16.7	20.8	50.0	12.5	100.0
	50歳代	1	4	1	0	6
	60歳代	16.7	66.7	16.7	0.0	100.0
	70歳以上	12	14	32	0	58
	不明・無回答	20.7	24.1	55.2	0.0	100.0
		21	39	51	0	111

(2) 友人や知人とのかわり

		(上段:人、下段:%)				
		受強く影響を受けた	ある程度影響を受けた	なにか影響を受けた	無回答・不明	合計
性別	市全体	95	273	341	17	726
	男性	13.1	37.6	47.0	2.3	100.0
	女性	36	114	137	5	292
	その他、回答したくない	12.3	39.0	46.9	1.7	100.0
	不明・無回答	53	149	189	8	396
		13.4	36.9	47.7	2.0	100.0
年齢別	10歳代	2	6	5	1	14
	20歳代	14.3	42.9	35.7	7.1	100.0
	30歳代	4	7	10	3	24
	40歳代	16.7	29.2	41.7	12.5	100.0
	50歳代	1	3	2	0	6
	60歳代	16.7	50.0	33.3	0.0	100.0
	70歳以上	14	21	23	0	58
	不明・無回答	24.1	36.2	39.7	0.0	100.0
		21	47	43	0	111

(3) 隣近所の人とのかわり、自治会や子供会などの地域活動

		(上段:人、下段:%)				
		受強く影響を受けた	ある程度影響を受けた	なにか影響を受けた	無回答・不明	合計
性別	市全体	34	195	478	19	726
	男性	4.7	26.9	65.8	2.6	100.0
	女性	14	78	194	6	292
	その他、回答したくない	4.8	26.7	66.4	2.1	100.0
	不明・無回答	16	110	261	9	396
		4.0	27.8	65.9	2.3	100.0
年齢別	10歳代	1	3	9	1	14
	20歳代	7.1	21.4	64.3	7.1	100.0
	30歳代	3	4	14	3	24
	40歳代	12.5	16.7	58.3	12.5	100.0
	50歳代	0	3	3	0	6
	60歳代	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
	70歳以上	1	16	41	0	58
	不明・無回答	1.7	27.6	70.7	0.0	100.0
		5	31	75	0	111

(4) 学校の授業・講義

		(上段:人、下段:%)				
		受強く影響を受けた	ある程度影響を受けた	なにか影響を受けた	無回答・不明	合計
性別	市全体	106	269	328	23	726
	男性	14.6	37.1	45.2	3.2	100.0
	女性	37	100	149	6	292
	その他、回答したくない	12.7	34.2	51.0	2.1	100.0
	不明・無回答	66	151	167	12	396
		16.7	38.1	42.2	3.0	100.0
年齢別	10歳代	1	8	4	1	14
	20歳代	7.1	57.1	28.6	7.1	100.0
	30歳代	2	10	8	4	24
	40歳代	8.3	41.7	33.3	16.7	100.0
	50歳代	3	1	2	0	6
	60歳代	50.0	16.7	33.3	0.0	100.0
	70歳以上	13	24	21	0	58
	不明・無回答	22.4	41.4	36.2	0.0	100.0
		26	52	33	0	111

(5) 職場の研修

		(上段:人、下段:%)				
		受強く影響を受けた	ある程度影響を受けた	なにか影響を受けた	無回答・不明	合計
性別	市全体	48	178	471	29	726
	男性	6.6	24.5	64.9	4.0	100.0
	女性	20	75	193	4	292
	その他、回答したくない	6.8	25.7	66.1	1.4	100.0
	不明・無回答	26	98	252	20	396
		6.6	24.7	63.6	5.1	100.0
年齢別	10歳代	0	4	9	1	14
	20歳代	0.0	28.6	64.3	7.1	100.0
	30歳代	2	1	17	4	24
	40歳代	8.3	4.2	70.8	16.7	100.0
	50歳代	0	3	3	0	6
	60歳代	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
	70歳以上	3	23	32	0	58
	不明・無回答	5.2	39.7	55.2	0.0	100.0
		15	27	69	0	111

(6) 行政が主催する講座・講演会・研修会

		(上段:人、下段:%)				
		受強く影響を受けた	ある程度影響を受けた	なにか影響を受けた	無回答・不明	合計
性別	市全体	16	107	567	36	726
	男性	2.2	14.7	78.1	5.0	100.0
	女性	8	45	230	9	292
	その他、回答したくない	2.7	15.4	78.8	3.1	100.0
	不明・無回答	8	56	312	20	396
		2.0	14.1	78.8	5.1	100.0
年齢別	10歳代	0	2	11	1	14
	20歳代	0.0	14.3	78.6	7.1	100.0
	30歳代	0	4	14	6	24
	40歳代	0.0	16.7	58.3	25.0	100.0
	50歳代	0	3	3	0	6
	60歳代	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
	70歳以上	0	14	44	0	58
	不明・無回答	0.0	24.1	75.9	0.0	100.0
		2	11	97	1	111

(7) 企業や民間団体(PTAを含む)が主催する講座・講演会・研修会

		(上段:人、下段:%)				
		受強く 影響を 受けた	ある 程度影 響を受け た	な影 響を受 けた	無不明 回答・ 合計	合計
性別	市全体	23	119	553	31	726
	男性	3.2	16.4	76.2	4.3	100.0
	女性	9	52	223	8	292
	その他、回答したくない	3.1	17.8	76.4	2.7	100.0
	不明・無回答	1.3	59	306	18	396
年齢別	10歳代	3.3	14.9	77.3	4.5	100.0
	20歳代	0	3	9	1	14
	30歳代	7.1	21.4	64.3	7.1	100.0
	40歳代	0	5	15	4	24
	50歳代	0.0	20.8	62.5	16.7	100.0
	60歳代	0	3	3	0	6
	70歳以上	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
	不明・無回答	0	10	48	0	58
	10歳代	0.0	17.2	82.8	0.0	100.0
	20歳代	4	13	94	0	111

(8) 人権侵害を現に受け、又は受ける可能性のある当事者(団体)や支援団体との交流会・イベント

		(上段:人、下段:%)				
		受強く 影響を 受けた	ある 程度影 響を受け た	な影 響を受 けた	無不明 回答・ 合計	合計
性別	市全体	31	117	541	37	726
	男性	4.3	16.1	74.5	5.1	100.0
	女性	12	50	221	9	292
	その他、回答したくない	4.1	17.1	75.7	3.1	100.0
	不明・無回答	18	59	297	22	396
年齢別	10歳代	4.5	14.9	75.0	5.6	100.0
	20歳代	0	3	10	1	14
	30歳代	0.0	21.4	71.4	7.1	100.0
	40歳代	1	5	13	5	24
	50歳代	4.2	20.8	54.2	20.8	100.0
	60歳代	1	2	3	0	6
	70歳以上	16.7	33.3	50.0	0.0	100.0
	不明・無回答	6	10	42	0	58
	10歳代	10.3	17.2	72.4	0.0	100.0
	20歳代	8	17	86	0	111

(9) 行政による広報紙・SNS・ホームページ等の記事

		(上段:人、下段:%)				
		受強く 影響を 受けた	ある 程度影 響を受け た	な影 響を受 けた	無不明 回答・ 合計	合計
性別	市全体	34	183	475	34	726
	男性	4.7	25.2	65.4	4.7	100.0
	女性	17	79	191	5	292
	その他、回答したくない	5.8	27.1	65.4	1.7	100.0
	不明・無回答	15	95	264	22	396
年齢別	10歳代	3.8	24.0	66.7	5.6	100.0
	20歳代	1	3	9	1	14
	30歳代	7.1	21.4	64.3	7.1	100.0
	40歳代	1	6	11	6	24
	50歳代	4.2	25.0	45.8	25.0	100.0
	60歳代	0	3	3	0	6
	70歳以上	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
	不明・無回答	0	16	37	1	58
	10歳代	6.9	27.6	63.8	1.7	100.0
	20歳代	6	27	77	1	111

(10) テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍など

		(上段:人、下段:%)				
		受強く 影響を 受けた	ある 程度影 響を受け た	な影 響を受 けた	無不明 回答・ 合計	合計
性別	市全体	148	345	210	23	726
	男性	20.4	47.5	28.9	3.2	100.0
	女性	54	135	97	6	292
	その他、回答したくない	18.5	46.2	33.2	2.1	100.0
	不明・無回答	85	192	107	12	396
年齢別	10歳代	21.5	48.5	27.0	3.0	100.0
	20歳代	3	9	1	1	14
	30歳代	21.4	64.3	7.1	7.1	100.0
	40歳代	6	9	5	4	24
	50歳代	25.0	37.5	20.8	16.7	100.0
	60歳代	0	3	2	1	6
	70歳以上	0.0	50.0	33.3	16.7	100.0
	不明・無回答	19	26	13	0	58
	10歳代	32.8	44.8	22.4	0.0	100.0
	20歳代	29	59	23	0	111

(11) インターネット上の情報など(行政によるものを除く)

		(上段:人、下段:%)				
		受強く 影響を 受けた	ある 程度影 響を受け た	な影 響を受 けた	無不明 回答・ 合計	合計
性別	市全体	101	254	335	36	726
	男性	13.9	35.0	46.1	5.0	100.0
	女性	46	93	147	6	292
	その他、回答したくない	15.8	31.8	50.3	2.1	100.0
	不明・無回答	52	147	173	24	396
年齢別	10歳代	13.1	37.1	43.7	6.1	100.0
	20歳代	2	7	4	1	14
	30歳代	14.3	50.0	28.6	7.1	100.0
	40歳代	1	7	11	5	24
	50歳代	4.2	29.2	45.8	20.8	100.0
	60歳代	2	3	1	0	6
	70歳以上	33.3	50.0	16.7	0.0	100.0
	不明・無回答	0	18	24	0	58
	10歳代	31.0	41.4	27.6	0.0	100.0
	20歳代	23	56	32	0	111

(12) 自分の身近で起きた差別事例

		(上段:人、下段:%)				
		受強く 影響を 受けた	ある 程度影 響を受け た	な影 響を受 けた	無不明 回答・ 合計	合計
性別	市全体	103	239	357	27	726
	男性	14.2	32.9	49.2	3.7	100.0
	女性	43	98	144	7	292
	その他、回答したくない	14.7	33.6	49.3	2.4	100.0
	不明・無回答	54	131	196	15	396
年齢別	10歳代	13.6	33.1	49.5	3.8	100.0
	20歳代	1	6	6	1	14
	30歳代	7.1	42.9	42.9	7.1	100.0
	40歳代	5	4	11	4	24
	50歳代	20.8	16.7	45.8	16.7	100.0
	60歳代	0	3	3	0	6
	70歳以上	0.0	50.0	50.0	0.0	100.0
	不明・無回答	12	16	30	0	58
	10歳代	20.7	27.6	51.7	0.0	100.0
	20歳代	19	45	47	0	111

職業別でみると、「強く影響を受けた」「ある程度影響を受けた」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では『(10) テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍など』であり、数値は各々71.6%、74.9%、75.7%、56.0%となっており、「公務員、教員」では『(5) 職場の研修』が85.0%となっている。

一方で「影響を受けなかった」と答えた人の割合が最も高いのは、「自営業」「民間正規雇用」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では『(6)行政が主催する講座・講演会・研修会』であり、数値は各々81.4%、80.7%、83.1%、74.2%となっており、「公務員、教員」では『(7)企業や民間団体(PTAを含む)が主催する講座・講演会・研修会』で、80.0%となっている。【表2 - 2 - 3】

【表2 - 2 - 3 職業別 差別に関する考え方に影響を受けた程度】

(1) 家族や親せきとのかかわり

(上段:人、下段:%)

	け強 たく 影響 を受	を あ 受 る 程 度 影 響	か 影 つ た を 受 け な	無 不 回 明 答 ・	合 計
市全体	88 12.1	225 31.0	393 54.1	20 2.8	726 100.0
自営業	13 12.7	27 26.5	60 58.8	2 2.0	102 100.0
民間正規雇用	30 16.0	63 33.7	94 50.3	0 0.0	187 100.0
公務員、教員	6 30.0	8 40.0	6 30.0	0 0.0	20 100.0
非正規雇用	16 10.8	54 36.5	76 51.4	2 1.4	148 100.0
家事専業、学生、無職	20 8.1	70 28.2	146 58.9	12 4.8	248 100.0
不明・無回答	3 14.3	3 14.3	11 52.4	4 19.0	21 100.0

(2) 友人や知人とのかかわり

(上段:人、下段:%)

	け強 たく 影響 を受	を あ 受 る 程 度 影 響	か 影 つ た を 受 け な	無 不 回 明 答 ・	合 計
市全体	95 13.1	273 37.6	341 47.0	17 2.3	726 100.0
自営業	15 14.7	38 37.3	48 47.1	1 1.0	102 100.0
民間正規雇用	31 16.6	78 41.7	78 41.7	0 0.0	187 100.0
公務員、教員	6 30.0	8 40.0	6 30.0	0 0.0	20 100.0
非正規雇用	21 14.2	68 45.9	57 38.5	2 1.4	148 100.0
家事専業、学生、無職	18 7.3	79 31.9	141 56.9	10 4.0	248 100.0
不明・無回答	4 19.0	2 9.5	11 52.4	4 19.0	21 100.0

(3) 隣近所の人とのかかわり、自治会や子供会などの地域活動

(上段:人、下段:%)

	け強 たく 影響 を受	を あ 受 る 程 度 影 響	か 影 つ た を 受 け な	無 不 回 明 答 ・	合 計
市全体	34 4.7	195 26.9	478 65.8	19 2.6	726 100.0
自営業	6 5.9	33 32.4	61 59.8	2 2.0	102 100.0
民間正規雇用	6 3.2	51 27.3	130 69.5	0 0.0	187 100.0
公務員、教員	2 10.0	8 40.0	10 50.0	0 0.0	20 100.0
非正規雇用	7 4.7	46 31.1	92 62.2	3 2.0	148 100.0
家事専業、学生、無職	10 4.0	56 22.6	172 69.4	10 4.0	248 100.0
不明・無回答	3 14.3	1 4.8	13 61.9	4 19.0	21 100.0

(4) 学校の授業・講義

(上段:人、下段:%)

	け強 たく 影響 を受	を あ 受 る 程 度 影 響	か 影 つ た を 受 け な	無 不 回 明 答 ・	合 計
市全体	106 14.6	269 37.1	328 45.2	23 3.2	726 100.0
自営業	16 15.7	38 37.3	45 44.1	3 2.9	102 100.0
民間正規雇用	40 21.4	80 42.8	67 35.8	0 0.0	187 100.0
公務員、教員	8 40.0	8 40.0	4 20.0	0 0.0	20 100.0
非正規雇用	21 14.2	63 42.6	62 41.9	2 1.4	148 100.0
家事専業、学生、無職	18 7.3	73 29.4	143 57.7	14 5.6	248 100.0
不明・無回答	3 14.3	7 33.3	7 33.3	4 19.0	21 100.0

(5) 職場の研修

(上段:人、下段:%)

	け強 たく 影響 を受	を あ 受 る 程 度 影 響	か 影 つ た を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	48	178	471	29	726
	6.6	24.5	64.9	4.0	100.0
自営業	3	20	76	3	102
	2.9	19.6	74.5	2.9	100.0
民間正規雇用	15	58	114	0	187
	8.0	31.0	61.0	0.0	100.0
公務員、教員	7	10	3	0	20
	35.0	50.0	15.0	0.0	100.0
非正規雇用	14	43	89	2	148
	9.5	29.1	60.1	1.4	100.0
家事専業、学生、無職	7	46	175	20	248
	2.8	18.5	70.6	8.1	100.0
不明・無回答	2	1	14	4	21
	9.5	4.8	66.7	19.0	100.0

(7) 企業や民間団体(PTAを含む)が主催する講座・講演会・研修会

(上段:人、下段:%)

	け強 たく 影響 を受	を あ 受 る 程 度 影 響	か 影 つ た を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	23	119	553	31	726
	3.2	16.4	76.2	4.3	100.0
自営業	3	14	82	3	102
	2.9	13.7	80.4	2.9	100.0
民間正規雇用	4	34	149	0	187
	2.1	18.2	79.7	0.0	100.0
公務員、教員	1	3	16	0	20
	5.0	15.0	80.0	0.0	100.0
非正規雇用	10	23	111	4	148
	6.8	15.5	75.0	2.7	100.0
家事専業、学生、無職	5	42	181	20	248
	2.0	16.9	73.0	8.1	100.0
不明・無回答	0	3	14	4	21
	0.0	14.3	66.7	19.0	100.0

(9) 行政による広報紙・SNS・ホームページ等の記事

(上段:人、下段:%)

	け強 たく 影響 を受	を あ 受 る 程 度 影 響	か 影 つ た を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	34	183	475	34	726
	4.7	25.2	65.4	4.7	100.0
自営業	4	25	70	3	102
	3.9	24.5	68.6	2.9	100.0
民間正規雇用	11	50	126	0	187
	5.9	26.7	67.4	0.0	100.0
公務員、教員	1	7	12	0	20
	5.0	35.0	60.0	0.0	100.0
非正規雇用	7	39	98	4	148
	4.7	26.4	66.2	2.7	100.0
家事専業、学生、無職	11	58	156	23	248
	4.4	23.4	62.9	9.3	100.0
不明・無回答	0	4	13	4	21
	0.0	19.0	61.9	19.0	100.0

(6) 行政が主催する講座・講演会・研修会

(上段:人、下段:%)

	け強 たく 影響 を受	を あ 受 る 程 度 影 響	か 影 つ た を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	16	107	567	36	726
	2.2	14.7	78.1	5.0	100.0
自営業	3	12	83	4	102
	2.9	11.8	81.4	3.9	100.0
民間正規雇用	4	30	151	2	187
	2.1	16.0	80.7	1.1	100.0
公務員、教員	1	7	12	0	20
	5.0	35.0	60.0	0.0	100.0
非正規雇用	4	17	123	4	148
	2.7	11.5	83.1	2.7	100.0
家事専業、学生、無職	4	38	184	22	248
	1.6	15.3	74.2	8.9	100.0
不明・無回答	0	3	14	4	21
	0.0	14.3	66.7	19.0	100.0

(8) 人権侵害を現に受け、又は受ける可能性のある当事者(団体)や支援団体との交流会・イベント

(上段:人、下段:%)

	け強 たく 影響 を受	を あ 受 る 程 度 影 響	か 影 つ た を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	31	117	541	37	726
	4.3	16.1	74.5	5.1	100.0
自営業	6	15	77	4	102
	5.9	14.7	75.5	3.9	100.0
民間正規雇用	7	31	148	1	187
	3.7	16.6	79.1	0.5	100.0
公務員、教員	3	2	15	0	20
	15.0	10.0	75.0	0.0	100.0
非正規雇用	7	25	111	5	148
	4.7	16.9	75.0	3.4	100.0
家事専業、学生、無職	7	41	177	23	248
	2.8	16.5	71.4	9.3	100.0
不明・無回答	1	3	13	4	21
	4.8	14.3	61.9	19.0	100.0

(10) テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍など

(上段:人、下段:%)

	け強 たく 影響 を受	を あ 受 る 程 度 影 響	か 影 つ た を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	148	345	210	23	726
	20.4	47.5	28.9	3.2	100.0
自営業	26	47	29	0	102
	25.5	46.1	28.4	0.0	100.0
民間正規雇用	43	97	47	0	187
	23.0	51.9	25.1	0.0	100.0
公務員、教員	8	8	4	0	20
	40.0	40.0	20.0	0.0	100.0
非正規雇用	36	76	33	3	148
	24.3	51.4	22.3	2.0	100.0
家事専業、学生、無職	30	109	93	16	248
	12.1	44.0	37.5	6.5	100.0
不明・無回答	5	8	4	4	21
	23.8	38.1	19.0	19.0	100.0

(11) インターネット上の情報など(行政によるものを除く)

	(上段:人, 下段:%)				
	強く影響を受けた	ある程度影響を受けた	影響を受けなかった	不明・無回答	合計
市全体	101	254	335	36	726
	13.9	35.0	46.1	5.0	100.0
自営業	22	34	43	3	102
	21.6	33.3	42.2	2.9	100.0
民間正規雇用	35	83	69	0	187
	18.7	44.4	36.9	0.0	100.0
公務員、教員	6	6	8	0	20
	30.0	30.0	40.0	0.0	100.0
非正規雇用	21	59	62	6	148
	14.2	39.9	41.9	4.1	100.0
家事専業、学生、無職	16	68	141	23	248
	6.5	27.4	56.9	9.3	100.0
不明・無回答	1	4	12	4	21
	4.8	19.0	57.1	19.0	100.0

(12) 自分の身近で起きた差別事例

	(上段:人, 下段:%)				
	強く影響を受けた	ある程度影響を受けた	影響を受けなかった	不明・無回答	合計
	103	239	357	27	726
	14.2	32.9	49.2	3.7	100.0
	16	37	46	3	102
	15.7	36.3	45.1	2.9	100.0
	35	64	87	1	187
	18.7	34.2	46.5	0.5	100.0
	6	8	6	0	20
	30.0	40.0	30.0	0.0	100.0
	21	59	65	3	148
	14.2	39.9	43.9	2.0	100.0
	21	68	143	16	248
	8.5	27.4	57.7	6.5	100.0
	4	3	10	4	21
	19.0	14.3	47.6	19.0	100.0

学歴別でみると、「強く影響を受けた」「ある程度影響を受けた」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、すべての学歴で『(10) テレビ、映画、新聞、雑誌、書籍など』であり、「中学卒」が40.8%、「高校卒」が63.5%、「短大卒」が81.4%、「大学卒」が73.3%となっている。

一方で「影響を受けなかった」と答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」「高校卒」「短大卒」では『(6)行政が主催する講座・講演会・研修会』であり、数値は各々76.1%、78.8%、83.1%となっており、「大学卒」では『(7)企業や民間団体(PTAを含む)が主催する講座・講演会・研修会』で75.9%となっている。【表2-2-4】

【表2-2-4 学歴別 差別に関する考え方に影響を受けた程度】

(1) 家族や親せきとのかかわり

	(上段:人, 下段:%)				
	強く影響を受けた	ある程度影響を受けた	影響を受けなかった	不明・無回答	合計
市全体	88	225	393	20	726
	12.1	31.0	54.1	2.8	100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	3	18	44	6	71
	4.2	25.4	62.0	8.5	100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	29	70	157	4	260
	11.2	26.9	60.4	1.5	100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	24	61	83	4	172
	14.0	35.5	48.3	2.3	100.0
4.大学、大学院	28	70	91	2	191
	14.7	36.6	47.6	1.0	100.0
5.その他	1	2	8	0	11
	9.1	18.2	72.7	0.0	100.0
不明・無回答	3	4	10	4	21
	14.3	19.0	47.6	19.0	100.0

(2) 友人や知人とのかかわり

	(上段:人, 下段:%)				
	強く影響を受けた	ある程度影響を受けた	影響を受けなかった	不明・無回答	合計
	95	273	341	17	726
	13.1	37.6	47.0	2.3	100.0
	2	20	44	5	71
	2.8	28.2	62.0	7.0	100.0
	28	96	133	3	260
	10.8	36.9	51.2	1.2	100.0
	31	69	69	3	172
	18.0	40.1	40.1	1.7	100.0
	29	79	81	2	191
	15.2	41.4	42.4	1.0	100.0
	1	6	4	0	11
	9.1	54.5	36.4	0.0	100.0
	4	3	10	4	21
	19.0	14.3	47.6	19.0	100.0

(3) 隣近所の人とのかかわり、自治会や子供会などの地域活動

	(上段:人, 下段:%)				
	け強 たく 影 響 を 受	を あ る 程 度 影 響	か 影 響 を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	34 4.7	195 26.9	478 65.8	19 2.6	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2 2.8	16 22.5	48 67.6	5 7.0	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	16 6.2	62 23.8	179 68.8	3 1.2	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	5 2.9	57 33.1	107 62.2	3 1.7	172 100.0
4.大学、大学院	7 3.7	55 28.8	125 65.4	4 2.1	191 100.0
5.その他	1 9.1	3 27.3	7 63.6	0 0.0	11 100.0
不明・無回答	3 14.3	2 9.5	12 57.1	4 19.0	21 100.0

(5) 職場の研修

	(上段:人, 下段:%)				
	け強 たく 影 響 を 受	を あ る 程 度 影 響	か 影 響 を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	48 6.6	178 24.5	471 64.9	29 4.0	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	3 4.2	12 16.9	51 71.8	5 7.0	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	13 5.0	49 18.8	189 72.7	9 3.5	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	15 8.7	49 28.5	102 59.3	6 3.5	172 100.0
4.大学、大学院	15 7.9	65 34.0	106 55.5	5 2.6	191 100.0
5.その他	0 0.0	1 9.1	10 90.9	0 0.0	11 100.0
不明・無回答	2 9.5	2 9.5	13 61.9	4 19.0	21 100.0

(7) 企業や民間団体(PTAを含む)が主催する講座・講演会・研修会

	(上段:人, 下段:%)				
	け強 たく 影 響 を 受	を あ る 程 度 影 響	か 影 響 を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	23 3.2	119 16.4	553 76.2	31 4.3	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2 2.8	11 15.5	51 71.8	7 9.9	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	9 3.5	40 15.4	201 77.3	10 3.8	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	6 3.5	27 15.7	135 78.5	4 2.3	172 100.0
4.大学、大学院	6 3.1	35 18.3	145 75.9	5 2.6	191 100.0
5.その他	0 0.0	2 18.2	8 72.7	1 9.1	11 100.0
不明・無回答	0 0.0	4 19.0	13 61.9	4 19.0	21 100.0

(4) 学校の授業・講義

	(上段:人, 下段:%)				
	け強 たく 影 響 を 受	を あ る 程 度 影 響	か 影 響 を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	106 14.6	269 37.1	328 45.2	23 3.2	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	4 5.6	14 19.7	47 66.2	6 8.5	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	28 10.8	81 31.2	147 56.5	4 1.5	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	31 18.0	82 47.7	55 32.0	4 2.3	172 100.0
4.大学、大学院	40 20.9	80 41.9	66 34.6	5 2.6	191 100.0
5.その他	1 9.1	4 36.4	6 54.5	0 0.0	11 100.0
不明・無回答	2 9.5	8 38.1	7 33.3	4 19.0	21 100.0

(6) 行政が主催する講座・講演会・研修会

	(上段:人, 下段:%)				
	け強 たく 影 響 を 受	を あ る 程 度 影 響	か 影 響 を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	16 2.2	107 14.7	567 78.1	36 5.0	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	3 4.2	8 11.3	54 76.1	6 8.5	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	6 2.3	37 14.2	205 78.8	12 4.6	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	2 1.2	20 11.6	143 83.1	7 4.1	172 100.0
4.大学、大学院	5 2.6	37 19.4	143 74.9	6 3.1	191 100.0
5.その他	0 0.0	1 9.1	9 90.9	1 0.0	11 100.0
不明・無回答	0 0.0	4 19.0	13 61.9	4 19.0	21 100.0

(8) 人権侵害を現に受け、又は受ける可能性のある当事者(団体)や支援団体との交流会・イベント

	(上段:人, 下段:%)				
	け強 たく 影 響 を 受	を あ る 程 度 影 響	か 影 響 を 受 け な	無 不 明 答 ・	合 計
市全体	31 4.3	117 16.1	541 74.5	37 5.1	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	2 2.8	8 11.3	53 74.6	8 11.3	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	8 3.1	50 19.2	189 72.7	13 5.0	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	3 1.7	23 13.4	137 79.7	4 2.3	172 100.0
4.大学、大学院	11 5.8	32 16.8	141 73.8	7 3.7	191 100.0
5.その他	1 9.1	0 0.0	9 90.9	1 9.1	11 100.0
不明・無回答	1 4.8	4 19.0	12 57.1	4 19.0	21 100.0

(9) 行政による広報紙・SNS・ホームページ等の記事

	(上段:人、下段:%)				
	け強 たく 影響 を受	を あ る 程 度 影 響	か 影 響 を 受 け な	無 不 回 答 ・	合 計
市全体	34 4.7	183 25.2	475 65.4	34 4.7	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	2 2.8	15 21.1	47 66.2	7 9.9	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	13 5.0	63 24.2	172 66.2	12 4.6	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	9 5.2	52 30.2	105 61.0	6 3.5	172 100.0
4.大学、大学院	10 5.2	46 24.1	131 68.6	4 2.1	191 100.0
5.その他	0 0.0	2 18.2	8 72.7	1 9.1	11 100.0
不明・無回答	0 0.0	5 23.8	12 57.1	4 19.0	21 100.0

(10) テレビ、映画、新聞、雑誌、
書籍など

	(上段:人、下段:%)				
	け強 たく 影響 を受	を あ る 程 度 影 響	か 影 響 を 受 け な	無 不 回 答 ・	合 計
	148 20.4	345 47.5	210 28.9	23 3.2	726 100.0
	4 5.6	25 35.2	35 49.3	7 9.9	71 100.0
	41 15.8	124 47.7	88 33.8	7 2.7	260 100.0
	50 29.1	90 52.3	28 16.3	4 2.3	172 100.0
	46 24.1	94 49.2	50 26.2	1 0.5	191 100.0
	3 27.3	3 27.3	5 45.5	0 0.0	11 100.0
	4 19.0	9 42.9	4 19.0	4 19.0	21 100.0

(11) インターネット上の情報など(行政によるものを除く)

	(上段:人、下段:%)				
	け強 たく 影響 を受	を あ る 程 度 影 響	か 影 響 を 受 け な	無 不 回 答 ・	合 計
市全体	101 13.9	254 35.0	335 46.1	36 5.0	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	5 7.0	13 18.3	46 64.8	7 9.9	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	24 9.2	79 30.4	144 55.4	13 5.0	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	33 19.2	72 41.9	60 34.9	7 4.1	172 100.0
4.大学、大学院	39 20.4	80 41.9	68 35.6	4 2.1	191 100.0
5.その他	0 0.0	5 45.5	5 45.5	1 9.1	11 100.0
不明・無回答	0 0.0	5 23.8	12 57.1	4 19.0	21 100.0

(12) 自分の身近で起きた差別事例

	(上段:人、下段:%)				
	け強 たく 影響 を受	を あ る 程 度 影 響	か 影 響 を 受 け な	無 不 回 答 ・	合 計
	103 14.2	239 32.9	357 49.2	27 3.7	726 100.0
	3 4.2	19 26.8	43 60.6	6 8.5	71 100.0
	31 11.9	79 30.4	143 55.0	7 2.7	260 100.0
	31 18.0	61 35.5	75 43.6	5 2.9	172 100.0
	33 17.3	72 37.7	81 42.4	5 2.6	191 100.0
	1 9.1	4 36.4	6 54.5	0 0.0	11 100.0
	4 19.0	4 19.0	9 42.9	4 19.0	21 100.0

2 - 3 . 結婚相手を考える際に気になること（なったこと）

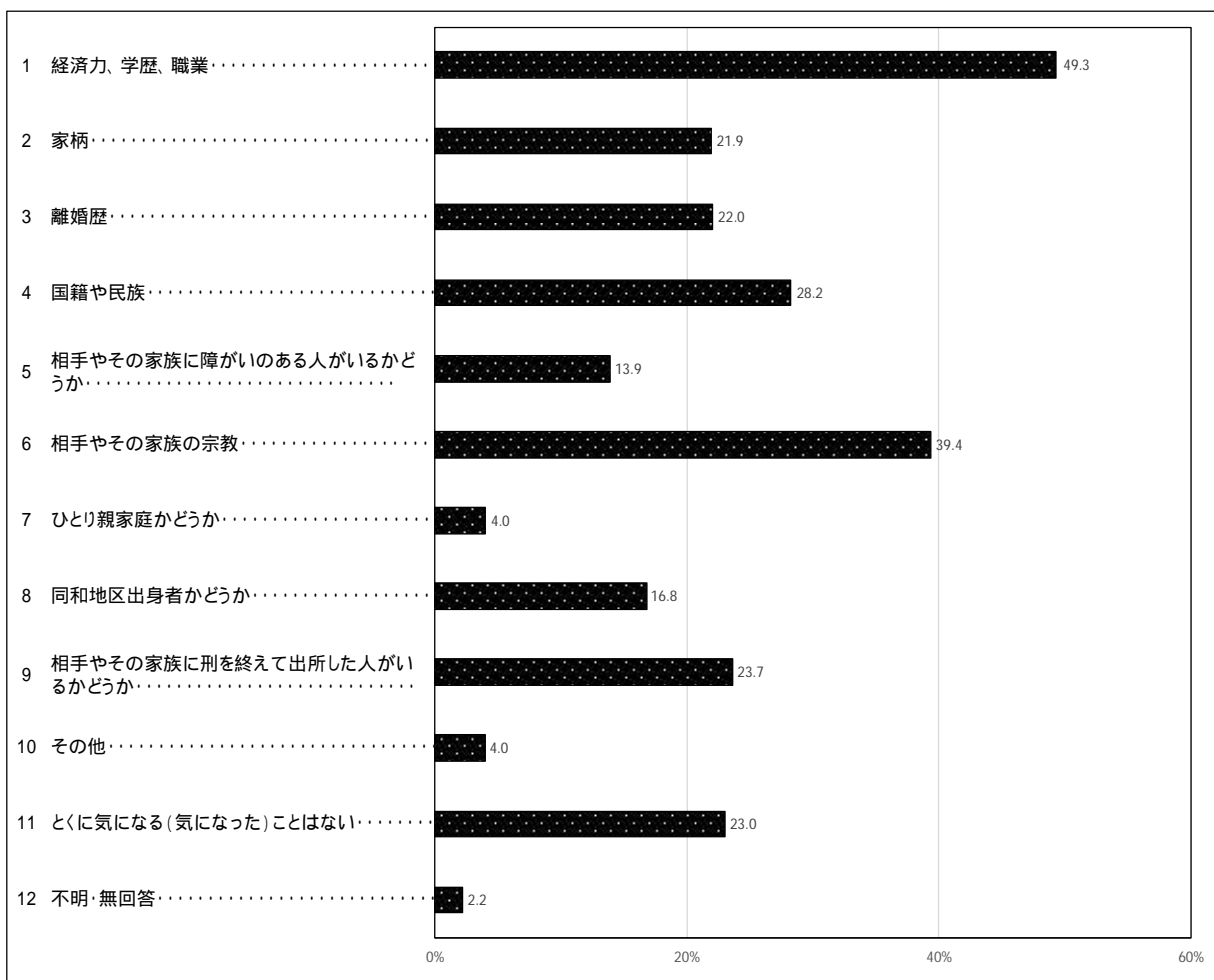
問5 結婚相手やパートナーを考える際、気になること（なったこと）はどんなことですか。
あなたやお子さんの場合を思い起こし、気になる項目を選んでください。

（はいくつでも）

【表2 - 3 - 1 結婚相手を考える際に気になること】

	(上段:人,下段:%)												
	経済力、学歴、職業	家柄	離婚歴	国籍や民族	相手やその家族に障がいのある人がいるかどうか	相手やその家族の宗教	ひとり親家庭かどうか	同和地区出身者かどうか	かて相手やその家族に刑を終えた人がいるかどうか	その他	とくに気になる(気になった)ことはない	不明・無回答	合計
市全体	358 49.3	159 21.9	160 22.0	205 28.2	101 13.9	286 39.4	29 4.0	122 16.8	172 23.7	29 4.0	167 23.0	16 2.2	726 100.0

【図2 - 3 結婚相手を考える際に気になること】



自分自身や子どもの結婚相手を考える際に、気になること(なったこと)について尋ねたところ、「1. 経済力、学歴、職業」と答えた人の割合が49.3%と最も高く、次いで「6.相手やその家族の宗教」が39.4%、「4. 国籍や民族」が28.2%となっている。

性別で見ると、男性では「6.相手やその家族の宗教」が39.4%と最も高く、次いで「1. 経済力、学歴、職業」が38.0%、「4. 国籍や民族」が32.5%となっている。

女性では「1. 経済力、学歴、職業」が57.6%と最も高く、次いで「6.相手やその家族の宗教」が38.4%、「2. 相手やその家族に刑を終えて出所した人があるかどうか」が25.8%となっている。

年齢別で見ると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての年代で「1. 経済力、学歴、職業」であり、数値は10歳代が66.7%、20歳代が58.6%、30歳代が55.0%、40歳代が51.7%、50歳代が56.6%、60歳代が48.3%、70歳以上が36.6%となっている。【表2-3-2】

【表2-3-2 性別・年齢別 結婚相手を考える際に気になること】

(上段:人,下段:%)

		経済力、学歴、職業	家柄	離婚歴	国籍や民族	うい相手かあるその人が家族に障どが	相手やその家族の宗教	ひとり親家庭かどうか	か同和地区出身者かどうか	るかえりかどう出所した人が刑を	相手やその家族に刑を	その他	なとくに気になる(気にならない)	不明・無回答	合計
市全体		358 49.3	159 21.9	160 22.0	205 28.2	101 13.9	286 39.4	29 4.0	122 16.8	172 23.7	29 4.0	167 23.0	16 2.2	726 100.0	
性別	男性	111 38.0	62 21.2	62 21.2	95 32.5	40 13.7	115 39.4	10 3.4	49 16.8	61 20.9	20 6.8	80 27.4	8 2.7	292 100.0	
	女性	228 57.6	87 22.0	91 23.0	100 25.3	55 13.9	152 38.4	19 4.8	69 17.4	102 25.8	8 2.0	78 19.7	6 1.5	396 100.0	
	その他、回答したくない	6 42.9	4 28.6	4 28.6	2 14.3	2 14.3	9 64.3	0 0.0	1 7.1	4 28.6	1 7.1	3 21.4	1 7.1	14 100.0	
	不明・無回答	13 54.2	6 25.0	3 12.5	8 33.3	4 16.7	10 41.7	0 0.0	3 12.5	5 20.8	0 0.0	6 25.0	1 4.2	24 100.0	
	不明・無回答	4 66.7	3 50.0	1 16.7	0 0.0	3 50.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	0 0.0	6 100.0	
年齢別	10歳代	34 58.6	14 24.1	20 34.5	10 17.2	12 20.7	20 34.5	1 1.7	2 3.4	18 31.0	1 1.7	16 27.6	0 0.0	58 100.0	
	20歳代	61 55.0	28 25.2	36 32.4	28 25.2	15 13.5	47 42.3	5 4.5	17 15.3	29 26.1	9 8.1	23 20.7	0 0.0	111 100.0	
	30歳代	61 51.7	27 22.9	33 28.0	32 27.1	16 13.6	49 41.5	5 4.2	19 16.1	26 22.0	6 5.1	29 24.6	2 1.7	118 100.0	
	40歳代	69 56.6	27 22.1	24 19.7	41 33.6	18 14.8	56 45.9	4 3.3	25 20.5	30 24.6	1 0.8	18 14.8	1 0.8	122 100.0	
	50歳代	56 48.3	24 20.7	21 18.1	41 35.3	18 15.5	46 39.7	4 3.4	27 23.3	31 26.7	4 3.4	24 20.7	3 2.6	116 100.0	
	60歳代	64 36.6	31 17.7	23 13.1	44 25.1	15 8.6	56 32.0	10 5.7	29 16.6	32 18.3	8 4.6	50 28.6	9 5.1	175 100.0	
	70歳以上	9 45.0	5 25.0	2 10.0	9 45.0	4 20.0	10 50.0	0 0.0	3 15.0	6 30.0	0 0.0	6 30.0	1 5.0	20 100.0	
	不明・無回答	9 45.0	5 25.0	2 10.0	9 45.0	4 20.0	10 50.0	0 0.0	3 15.0	6 30.0	0 0.0	6 30.0	1 5.0	20 100.0	

職業別でみると、気になると答えた人の割合が最も高いのは、すべての職業で「1. 経済力、学歴、職業」であり、「自営業」が49.0%、「民間正規雇用」が53.5%、「公務員、教員」が55.0%、「非正規雇用」が50.7%、「家事専業、学生、無職」が45.2%となっている。【表2-3-3】

【表2-3-3 職業別 結婚相手を考える際に気になること】

(上段:人, 下段: %)

		経済力、学歴、職業	家柄	離婚歴	国籍や民族	相手やその家族に障がいのある人がいるかどうか	相手やその家族の宗教	ひとり親家庭かどうか	か 同和地区 5 出身者かどうか	か 相手やその家族に刑を終えた人があるかどうか	その他	た くに気にならない (気になっ	不明・無回答	合計
市全体		358 49.3	159 21.9	160 22.0	205 28.2	101 13.9	286 39.4	29 4.0	122 16.8	172 23.7	29 4.0	167 23.0	16 2.2	726 100.0
職業別	自営業	50 49.0	28 27.5	23 22.5	28 27.5	14 13.7	42 41.2	3 2.9	18 17.6	21 20.6	7 6.9	22 21.6	2 2.0	102 100.0
	民間正規雇用	100 53.5	37 19.8	58 31.0	58 31.0	36 19.3	88 47.1	8 4.3	32 17.1	50 26.7	8 4.3	42 22.5	1 0.5	187 100.0
	公務員、教員	11 55.0	5 25.0	3 15.0	8 40.0	2 10.0	9 45.0	0 0.0	3 15.0	7 35.0	1 5.0	3 15.0	1 5.0	20 100.0
	非正規雇用	75 50.7	29 19.6	37 25.0	44 29.7	17 11.5	60 40.5	5 3.4	30 20.3	44 29.7	4 2.7	25 16.9	1 0.7	148 100.0
	家事専業、学生、無職	112 45.2	55 22.2	36 14.5	59 23.8	27 10.9	77 31.0	13 5.2	36 14.5	46 18.5	8 3.2	69 27.8	10 4.0	248 100.0
	不明・無回答	10 47.6	5 23.8	3 14.3	8 38.1	5 23.8	10 47.6	0 0.0	3 14.3	4 19.0	1 4.8	6 28.6	1 4.8	21 100.0

学歴別でみると、気になると答えた人の割合が最も高いのは、「中学卒」では「11. とくに気にならない(気になっ)ことはない」で33.8%、「高校卒」「短大卒」「大学卒」では「1. 経済力、学歴、職業」であり、数値は各々45.4%、55.8%、57.6%となっている。【表2-3-4】

【表2-3-4 学歴別 結婚相手を考える際に気になること】

(上段:人, 下段: %)

		経済力、学歴、職業	家柄	離婚歴	国籍や民族	相手やその家族に障がいのある人がいるかどうか	相手やその家族の宗教	ひとり親家庭かどうか	か 同和地区 5 出身者かどうか	か 相手やその家族に刑を終えた人があるかどうか	その他	た くに気にならない (気になっ	不明・無回答	合計
市全体		358 49.3	159 21.9	160 22.0	205 28.2	101 13.9	286 39.4	29 4.0	122 16.8	172 23.7	29 4.0	167 23.0	16 2.2	726 100.0
学歴別	1. 中学校、旧制小学校、旧制高等学校	20 28.2	10 14.1	10 14.1	18 25.4	9 12.7	20 28.2	5 7.0	9 12.7	12 16.9	3 4.2	24 33.8	5 7.0	71 100.0
	2. 高等学校、中学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制中等学校	118 45.4	59 22.7	42 16.2	77 29.6	25 9.6	93 35.8	8 3.1	48 18.5	49 18.8	10 3.8	69 26.5	5 1.9	260 100.0
	3. 短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	96 55.8	42 24.4	46 26.7	46 26.7	30 17.4	75 43.6	8 4.7	28 16.3	53 30.8	7 4.1	35 20.3	3 1.7	172 100.0
	4. 大学、大学院	110 57.6	41 21.5	57 29.8	54 28.3	31 16.2	83 43.5	7 3.7	31 16.2	53 27.7	7 3.7	31 16.2	2 1.0	191 100.0
	5. その他	4 36.4	1 9.1	3 27.3	2 18.2	1 9.1	5 45.5	1 9.1	3 27.3	1 9.1	1 9.1	2 18.2	0 0.0	11 100.0
	不明・無回答	10 47.6	6 28.6	2 9.5	8 38.1	5 23.8	10 47.6	0 0.0	3 14.3	4 19.0	1 4.8	6 28.6	1 4.8	21 100.0

2 - 4 . 不動産取引時の特定地域忌避行動に対する意識

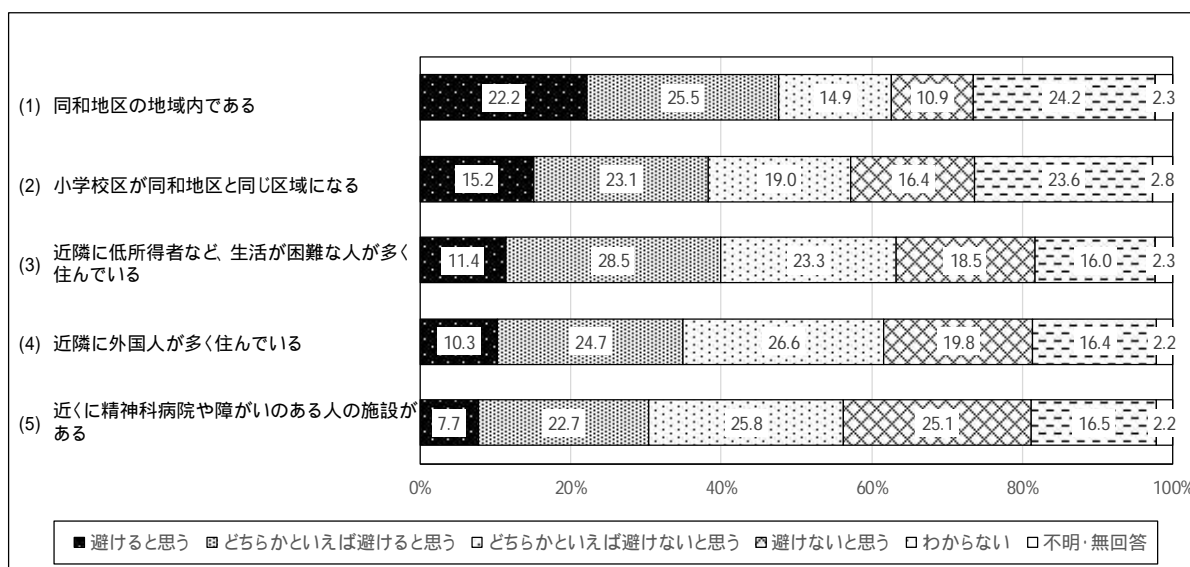
(1) 住宅を選ぶ際の特定地域への忌避意識

問6 あなたは、住宅を購入したりマンションを借りるなど、住宅を選ぶ際に、価格や立地条件などが希望にあっても、次の(1) ~ (5) のような条件の物件の場合、避けることがありますか。すべての項目についてお答えください。(それぞれ1つに)

【表 2 - 4 - 1 - 1 住宅を選ぶ際の特定地域への忌避意識】

	(上段:人、下段:%)						合計
	避けると思う	ええど うばち 避ら けか ると とい	とえど 思ばち う避 けか なと いい	う避 けな い思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	
(1) 同和地区の地域内である	161 22.2	185 25.5	108 14.9	79 10.9	176 24.2	17 2.3	726 100.0
(2) 小学校区が同和地区と同じ区域になる	110 15.2	168 23.1	138 19.0	119 16.4	171 23.6	20 2.8	726 100.0
(3) 近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる	83 11.4	207 28.5	169 23.3	134 18.5	116 16.0	17 2.3	726 100.0
(4) 近隣に外国人が多く住んでいる	75 10.3	179 24.7	193 26.6	144 19.8	119 16.4	16 2.2	726 100.0
(5) 近くに精神科病院や障がいのある人の施設がある	56 7.7	165 22.7	187 25.8	182 25.1	120 16.5	16 2.2	726 100.0

【図 2 - 4 - 1 住宅を選ぶ際の特定地域への忌避意識】



住居を選ぶ際の意識について尋ねたところ、「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、『(1)同和地区の地域内である』で47.7%、次いで『(3)近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる』が39.9%となっている。

一方で、「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、『(5)近くに精神科病院や障がいのある人の施設がある』で30.4%、次いで『(4)近隣に外国人

が多く住んでいる』が 35.0%となっている。

性別で見ると、「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、男性では『(1)同和地区の地域内である』で 46.9%、次いで『(3)近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる』が 40.8%となっている。

女性では『(1)同和地区の地域内である』が 48.7%と最も高く、次いで『(3)近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる』が 38.9%となっている。

一方で、「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、男性では『(5)近くに精神病院や障がいのある人の施設がある』で 31.5%、次いで『(4)近隣に外国人が多く住んでいる』が 38.0%となっている。

女性では『(5)近くに精神病院や障がいのある人の施設がある』が 29.0%と最も低く、次いで『(4)近隣に外国人が多く住んでいる』が 32.6%となっている。

年齢別で見ると、「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、10 歳代、20 歳代、30 歳代では『(3)近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる』であり、数値は各々 66.7%、51.7%、49.5%となっており、40 歳代、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では『(1)同和地区の地域内である』であり、各々 47.5%、56.6%、56.9%、38.9%となっている。

一方で、「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、10 歳代では『(4)近隣に外国人が多く住んでいる』と『(5)近くに精神病院や障がいのある人の施設がある』でともに 16.7%、20 歳代では『(2)小学校区が同和地区と同じ区域になる』で 32.8%、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代、では『(5)近くに精神病院や障がいのある人の施設がある』であり、数値は各々 35.1%、34.7%、28.7%、34.5%、70 歳以上では『(3)近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる』で 20.6%となっている。【表 2 - 4 - 1 - 2】

【表 2 - 4 - 1 - 2 性別・年齢別 住宅を選ぶ際の特定地域への忌避意識】

(1)同和地区の地域内である

		(上段:人、下段:%)							
		避ける と思う	思 えば 避け ると い	ど ち ら か と い え ば 避 け な い と い	ど ち ら か と い え ば 避 け な い と い	う 避 け な い と 思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		161 22.2	185 25.5	108 14.9	79 10.9	176 24.2	17 2.3	726 100.0	
性別	男性	64 21.9	73 25.0	46 15.8	41 14.0	61 20.9	7 2.4	292 100.0	
	女性	92 23.2	101 25.5	55 13.9	35 8.8	106 26.8	7 1.8	396 100.0	
	その他、回答したくない	2 14.3	5 35.7	2 14.3	0 0.0	4 28.6	1 7.1	14 100.0	
	不明・無回答	3 12.5	6 25.0	5 20.8	3 12.5	5 20.8	2 8.3	24 100.0	
年齢別	10歳代	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	6 100.0	
	20歳代	8 13.8	16 27.6	5 10.3	7 12.1	21 36.2	0 0.0	58 100.0	
	30歳代	29 26.1	24 21.6	20 18.0	14 12.6	24 21.6	0 0.0	111 100.0	
	40歳代	30 25.4	26 22.0	17 14.4	17 14.4	27 22.9	1 0.8	118 100.0	
	50歳代	37 30.3	32 26.2	13 10.7	8 6.6	31 25.4	1 0.8	122 100.0	
	60歳代	29 25.0	37 31.9	16 13.8	8 6.9	22 19.0	4 3.4	116 100.0	
	70歳以上	24 13.7	44 25.1	30 17.1	21 12.0	47 26.9	9 5.1	175 100.0	
	不明・無回答	3 15.0	4 20.0	5 25.0	3 15.0	3 15.0	2 10.0	20 100.0	

(2)小学校区が同和地区と同じ区域になる

		(上段:人、下段:%)							
		避ける と思う	思 えば 避け ると い	ど ち ら か と い え ば 避 け な い と い	ど ち ら か と い え ば 避 け な い と い	う 避 け な い と 思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		110 15.2	168 23.1	138 19.0	119 16.4	171 23.6	20 2.8	726 100.0	
性別	男性	43 14.7	72 24.7	58 19.9	56 19.2	56 19.2	7 2.4	292 100.0	
	女性	63 15.9	86 21.7	71 17.9	59 14.9	107 27.0	10 2.5	396 100.0	
	その他、回答したくない	1 7.1	4 28.6	3 21.4	1 7.1	4 28.6	1 7.1	14 100.0	
	不明・無回答	3 12.5	6 25.0	6 25.0	3 12.5	4 16.7	2 8.3	24 100.0	
年齢別	10歳代	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	6 100.0	
	20歳代	2 3.4	17 29.3	8 13.8	9 15.6	22 37.9	0 0.0	58 100.0	
	30歳代	20 18.0	25 22.5	22 19.8	19 17.1	25 22.5	0 0.0	111 100.0	
	40歳代	23 19.5	22 18.6	20 16.9	27 22.9	27 21.2	1 0.8	118 100.0	
	50歳代	27 22.1	27 22.1	19 15.6	16 13.1	32 26.2	1 0.8	122 100.0	
	60歳代	19 16.4	31 26.7	28 24.1	14 12.1	20 17.2	4 3.4	116 100.0	
	70歳以上	15 8.6	39 22.3	34 19.4	30 17.1	45 25.7	12 6.9	175 100.0	
	不明・無回答	3 15.0	5 25.0	6 30.0	3 15.0	3 15.0	2 10.0	20 100.0	

(3)近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる

		(上段:人、下段:%)							
		避ける と思う	思 う え ば ど ち ら か と い	ど ち ら か と 思 う	ど ち ら か と い い	う 避 け な い と 思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		83	207	169	134	116	17	726	
		11.4	28.5	23.3	18.5	16.0	2.3	100.0	
性別	男性	34	85	63	66	38	6	292	
		11.6	29.1	21.6	22.6	13.0	2.1	100.0	
	女性	44	110	97	65	72	8	396	
		11.1	27.8	24.5	16.4	18.2	2.0	100.0	
	その他、回答したくない	2	6	3	0	2	1	14	
	14.3	42.9	21.4	0.0	14.3	7.1	100.0		
不明・無回答		3	6	6	3	4	2	24	
		12.5	25.0	25.0	12.5	16.7	8.3	100.0	
年齢別	10歳代	0	4	0	1	1	0	6	
		0.0	66.7	0.0	16.7	16.7	0.0	100.0	
	20歳代	10	20	9	13	6	0	58	
		17.2	34.5	15.5	22.4	10.3	0.0	100.0	
	30歳代	21	34	25	23	8	0	111	
		18.9	30.6	22.5	20.7	7.2	0.0	100.0	
	40歳代	15	38	28	18	18	1	118	
		12.7	32.2	23.7	15.3	15.3	0.8	100.0	
	50歳代	13	39	25	22	22	1	122	
		10.7	32.0	20.5	18.0	18.0	0.8	100.0	
60歳代	17	35	32	15	13	4	116		
	14.7	30.2	27.6	12.9	11.2	3.4	100.0		
70歳以上	4	32	45	39	46	9	175		
	2.3	18.3	25.7	22.3	26.3	5.1	100.0		
不明・無回答		3	5	5	3	2	2	20	
		15.0	25.0	25.0	15.0	10.0	10.0	100.0	

(4)近隣に外国人が多く住んでいる

		(上段:人、下段:%)							
		避ける と思う	思 う え ば ど ち ら か と い	ど ち ら か と 思 う	ど ち ら か と い い	う 避 け な い と 思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		75	179	193	144	119	16	726	
		10.3	24.7	26.6	19.8	16.4	2.2	100.0	
性別	男性	33	78	77	59	39	6	292	
		11.3	26.7	26.4	20.2	13.4	2.1	100.0	
	女性	36	93	106	78	76	7	396	
		9.1	23.5	26.8	19.7	19.2	1.8	100.0	
	その他、回答したくない	1	3	6	2	1	1	14	
	7.1	21.4	42.9	14.3	7.1	7.1	100.0		
不明・無回答		5	5	4	5	3	2	24	
		20.8	20.8	16.7	20.8	12.5	8.3	100.0	
年齢別	10歳代	0	1	0	4	1	0	6	
		0.0	16.7	0.0	66.7	16.7	0.0	100.0	
	20歳代	7	16	16	12	7	0	58	
		12.1	27.6	27.6	20.7	12.1	0.0	100.0	
	30歳代	13	31	31	27	9	0	111	
		11.7	27.9	27.9	24.3	8.1	0.0	100.0	
	40歳代	13	30	36	25	13	1	118	
		11.0	25.4	30.5	21.2	11.0	0.8	100.0	
	50歳代	13	33	32	14	29	1	122	
		10.7	27.0	26.2	11.5	23.8	0.8	100.0	
60歳代	15	33	35	17	12	4	116		
	12.9	28.4	30.2	14.7	10.3	3.4	100.0		
70歳以上	9	31	39	41	47	8	175		
	5.1	17.7	22.3	23.4	26.9	4.6	100.0		
不明・無回答		5	4	4	4	1	2	20	
		25.0	20.0	20.0	20.0	5.0	10.0	100.0	

(5) 近くに精神科病院や障がいのある人の施設がある

		(上段:人、下段:%)							
		避ける と思う	思 う え ば ど ち ら か と い	ど ち ら か と 思 う	ど ち ら か と い い	う 避 け な い と 思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		56	165	187	182	120	16	726	
		7.7	22.7	25.8	25.1	16.5	2.2	100.0	
性別	男性	19	73	76	76	41	7	292	
		6.5	25.0	26.0	26.0	14.0	2.4	100.0	
	女性	35	80	105	99	71	6	396	
		8.8	20.2	26.5	25.0	17.9	1.5	100.0	
	その他、回答したくない	1	4	2	2	4	1	14	
	7.1	28.6	14.3	14.3	28.6	7.1	100.0		
不明・無回答		1	8	4	5	4	2	24	
		4.2	33.3	16.7	20.8	16.7	8.3	100.0	
年齢別	10歳代	0	1	0	3	2	0	6	
		0.0	16.7	0.0	50.0	33.3	0.0	100.0	
	20歳代	6	14	16	13	8	1	58	
		10.3	24.1	27.6	22.4	13.8	1.7	100.0	
	30歳代	10	29	25	34	13	0	111	
		9.0	26.1	22.5	30.6	11.7	0.0	100.0	
	40歳代	10	31	28	30	18	1	118	
		8.5	26.3	23.7	25.4	15.3	0.8	100.0	
	50歳代	9	26	42	21	23	1	122	
		7.4	21.3	34.4	17.2	18.9	0.8	100.0	
60歳代	14	26	31	25	16	4	116		
	12.1	22.4	26.7	21.6	13.8	3.4	100.0		
70歳以上	6	31	42	51	38	7	175		
	3.4	17.7	24.0	29.1	21.7	4.0	100.0		
不明・無回答		1	7	3	5	2	2	20	
		5.0	35.0	15.0	25.0	10.0	10.0	100.0	

職業別でみると、「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、「自営業」「公務員、教員」「非正規雇用」「家事専業、学生、無職」では『(1)同和地区の地域内である』であり、数値は各々52.9%、60.0%、46.6%、41.9%となっており、「民間正規雇用」では『(3)近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる』で54.0%となっている。

一方で、「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、すべての職業で『(5)近くに精神病院や障がいのある人の施設がある』であり、数値は「自営業」32.4%、「民間正規雇用」32.6%、「公務員、教員」20.0%、「非正規雇用」33.8%、「家事専業、学生、無職」27.0%となっている。

【表2-4-1-3】

【表2-4-1-3 職業別 住宅を選ぶ際の特定地域への忌避意識】

(1)同和地区の地域内である

	(上段:人, 下段:%)						
	避ける と思う	思えど うばち う避け けか ると いい	とえど 思ばち う避け けか なと いい	う避け けない と思	わ から ない	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	161 22.2	185 25.5	108 14.9	79 10.9	176 24.2	17 2.3	726 100.0
自営業	28 27.5	26 25.5	13 12.7	14 13.7	21 20.6	0 0.0	102 100.0
民間正規雇用	49 26.2	51 27.3	27 14.4	22 11.8	37 19.8	1 0.5	187 100.0
公務員、教員	7 35.0	5 25.0	1 5.0	4 20.0	2 10.0	1 5.0	20 100.0
非正規雇用	34 23.0	35 23.6	18 12.2	11 7.4	49 33.1	1 0.7	148 100.0
家事専業、学生、無職	39 15.7	65 26.2	43 17.3	25 10.1	64 25.8	12 4.8	248 100.0
不明・無回答	4 19.0	3 14.3	6 28.6	3 14.3	3 14.3	2 9.5	21 100.0

(2)小学校区が同和地区と同じ区域になる

	(上段:人, 下段:%)						
	避ける と思う	思えど うばち う避け けか ると いい	とえど 思ばち う避け けか なと いい	う避け けない と思	わ から ない	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	110 15.2	168 23.1	138 19.0	119 16.4	171 23.6	20 2.8	726 100.0
自営業	17 16.7	27 26.5	21 20.6	15 14.7	22 21.6	0 0.0	102 100.0
民間正規雇用	32 17.1	52 27.8	32 17.1	32 17.1	38 20.3	1 0.5	187 100.0
公務員、教員	6 30.0	4 20.0	2 10.0	5 25.0	2 10.0	1 5.0	20 100.0
非正規雇用	21 14.2	29 19.6	24 16.2	28 18.9	45 30.4	1 0.7	148 100.0
家事専業、学生、無職	30 12.1	52 21.0	51 20.6	37 14.9	63 25.4	15 6.0	248 100.0
不明・無回答	4 19.0	4 19.0	8 38.1	2 9.5	1 4.8	2 9.5	21 100.0

(3)近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる

	(上段:人, 下段:%)						
	避ける と思う	思えど うばち う避け けか ると いい	とえど 思ばち う避け けか なと いい	う避け けない と思	わ から ない	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	83 11.4	207 28.5	169 23.3	134 18.5	116 16.0	17 2.3	726 100.0
自営業	15 14.7	30 29.4	23 22.5	20 19.6	14 13.7	0 0.0	102 100.0
民間正規雇用	26 13.9	75 40.1	38 20.3	30 16.0	17 9.1	1 0.5	187 100.0
公務員、教員	6 30.0	5 25.0	3 15.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	20 100.0
非正規雇用	17 11.5	36 24.3	41 27.7	30 20.3	23 15.5	1 0.7	148 100.0
家事専業、学生、無職	15 6.0	57 23.0	60 24.2	47 19.0	57 23.0	12 4.8	248 100.0
不明・無回答	4 19.0	4 19.0	4 19.0	3 14.3	4 19.0	2 9.5	21 100.0

(4)近隣に外国人が多く住んでいる

	(上段:人, 下段:%)						
	避ける と思う	思えど うばち う避け けか ると いい	とえど 思ばち う避け けか なと いい	う避け けない と思	わ から ない	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	75 10.3	179 24.7	193 26.6	144 19.8	119 16.4	16 2.2	726 100.0
自営業	11 10.8	24 23.5	30 29.4	21 20.6	16 15.7	0 0.0	102 100.0
民間正規雇用	19 10.2	58 31.0	60 32.1	30 16.0	19 10.2	1 0.5	187 100.0
公務員、教員	3 15.0	3 15.0	8 40.0	4 20.0	1 5.0	1 5.0	20 100.0
非正規雇用	16 10.8	42 28.4	41 27.7	25 16.9	23 15.5	1 0.7	148 100.0
家事専業、学生、無職	22 8.9	49 19.8	50 20.2	57 23.0	59 23.8	11 4.4	248 100.0
不明・無回答	4 19.0	3 14.3	4 19.0	7 33.3	1 4.8	2 9.5	21 100.0

(5) 近くに精神科病院や障がいのある人の施設がある

(上段:人、下段:%)

	避ける と思う	思えば 避けか るとい	ど え ば ど ち ら か と い え ば 避 け か な と い い	ど ち ら か と い え ば 避 け か な と い い	う 避 け な い と 思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	56 7.7	165 22.7	187 25.8	182 25.1	120 16.5	16 2.2	726 100.0	
自営業	11 10.8	22 21.6	30 29.4	23 22.5	16 15.7	0 0.0	102 100.0	
民間正規雇用	11 5.9	50 26.7	58 31.0	44 23.5	22 11.8	2 1.1	187 100.0	
公務員、教員	3 15.0	1 5.0	7 35.0	7 35.0	1 5.0	1 5.0	20 100.0	
非正規雇用	13 8.8	37 25.0	37 25.0	36 24.3	24 16.2	1 0.7	148 100.0	
家事専業、学生、無職	17 6.9	50 20.2	51 20.6	66 26.6	54 21.8	10 4.0	248 100.0	
不明・無回答	1 4.8	5 23.8	4 19.0	6 28.6	3 14.3	2 9.5	21 100.0	

学歴別でみると、「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」と答えた人の合計の割合が最も高いのは、すべての学歴で『(1)同和地区の地域内である』であり、「中学卒」が29.6%、「高校卒」が44.2%、「短大卒」が53.5%、「大学卒」が55.0%となっている。

一方で、「避けると思う」「どちらかといえば避けると思う」と答えた人の合計の割合が最も低いのは、「中学卒」では『(3)近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる』で9.9%となっており、「高校卒」「短大卒」「大学卒」では『(5)近くに精神科病院や障がいのある人の施設がある』であり、数値は各々27.7%、38.4%、31.4%となっている。【表2-4-1-4】

【表2-4-1-4 学歴別 住宅を選ぶ際の特定地域への忌避意識】

(1)同和地区の地域内である

(上段:人、下段:%)

	避ける と思う	思えば 避けか るとい	ど え ど ち ら か と い え ば 避 け か な と い い	ど ち ら か と い え ば 避 け か な と い い	う 避 け な い と 思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	161 22.2	185 25.5	108 14.9	79 10.9	176 24.2	17 2.3	726 100.0	
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	10 14.1	11 15.5	12 16.9	10 14.1	22 31.0	6 8.5	71 100.0	
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	56 21.5	59 22.7	38 14.6	28 10.8	73 28.1	6 2.3	260 100.0	
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	47 27.3	45 26.2	20 11.6	16 9.3	42 24.4	2 1.2	172 100.0	
4.大学、大学院	43 22.5	62 32.5	32 16.8	19 9.9	34 17.8	1 0.5	191 100.0	
5.その他	2 18.2	4 36.4	0 0.0	3 27.3	2 18.2	0 0.0	11 100.0	
不明・無回答	3 14.3	4 19.0	6 28.6	3 14.3	3 14.3	2 9.5	21 100.0	

(2)小学校区が同和地区と同じ区域になる

(上段:人、下段:%)

	避ける と思う	思えば 避けか るとい	ど え ど ち ら か と い え ば 避 け か な と い い	ど ち ら か と い え ば 避 け か な と い い	う 避 け な い と 思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	110 15.2	168 23.1	138 19.0	119 16.4	171 23.6	20 2.8	726 100.0	
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	6 8.5	8 11.3	17 23.9	11 15.5	21 29.6	8 11.3	71 100.0	
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	36 13.8	55 21.2	44 16.9	48 18.5	71 27.3	6 2.3	260 100.0	
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	34 19.8	41 23.8	31 18.0	24 14.0	39 22.7	3 1.7	172 100.0	
4.大学、大学院	29 15.2	57 29.8	38 19.9	30 15.7	36 18.8	1 0.5	191 100.0	
5.その他	2 18.2	2 18.2	0 0.0	4 36.4	3 27.3	0 0.0	11 100.0	
不明・無回答	3 14.3	5 23.8	8 38.1	2 9.5	1 4.8	2 9.5	21 100.0	

(3)近隣に低所得者など、生活が困難な人が多く住んでいる

(上段:人, 下段:%)

	避ける と思う	思えば 避けると いい	と 思えば 避けな い	う 避け ない と思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	83 11.4	207 28.5	169 23.3	134 18.5	116 16.0	17 2.3	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	0 0.0	7 9.9	20 28.2	20 28.2	19 26.8	5 7.0	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	21 8.1	60 23.1	68 26.2	57 21.9	47 18.1	7 2.7	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	26 15.1	65 37.8	31 18.0	27 15.7	21 12.2	2 1.2	172 100.0
4.大学、大学院	33 17.3	66 34.6	45 23.6	22 11.5	24 12.6	1 0.5	191 100.0
5.その他	0 0.0	4 36.4	1 9.1	5 45.5	1 9.1	0 0.0	11 100.0
不明・無回答	3 14.3	5 23.8	4 19.0	3 14.3	4 19.0	2 9.5	21 100.0

(4)近隣に外国人が多く住んでいる

(上段:人, 下段:%)

	避ける と思う	思えば 避けると いい	と 思えば 避けな い	う 避け ない と思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	75 10.3	179 24.7	193 26.6	144 19.8	119 16.4	16 2.2	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	4 5.6	8 11.3	19 26.8	19 26.8	17 23.9	4 5.6	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	25 9.6	64 24.6	64 24.6	47 18.1	54 20.8	6 2.3	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	20 11.6	48 27.9	46 26.7	34 19.8	21 12.2	3 1.7	172 100.0
4.大学、大学院	21 11.0	51 26.7	59 30.9	34 17.8	25 13.1	1 0.5	191 100.0
5.その他	1 9.1	4 36.4	1 9.1	4 36.4	1 9.1	0 0.0	11 100.0
不明・無回答	4 19.0	4 19.0	4 19.0	6 28.6	1 4.8	2 9.5	21 100.0

(5) 近くに精神科病院や障がいのある人の施設がある

(上段:人, 下段:%)

	避ける と思う	思えば 避けると いい	と 思えば 避けな い	う 避け ない と思	わ か ら な い	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体	56 7.7	165 22.7	187 25.8	182 25.1	120 16.5	16 2.2	726 100.0
1.中学校、旧制小学校、旧制高等学校	1 1.4	11 15.5	23 32.4	15 21.1	17 23.9	4 5.6	71 100.0
2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	23 8.8	49 18.8	66 25.4	66 25.4	50 19.2	6 2.3	260 100.0
3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	15 8.7	51 29.7	41 23.8	45 26.2	18 10.5	2 1.2	172 100.0
4.大学、大学院	15 7.9	45 23.6	52 27.2	47 24.6	30 15.7	2 1.0	191 100.0
5.その他	1 9.1	3 27.3	1 9.1	4 36.4	2 18.2	0 0.0	11 100.0
不明・無回答	1 4.8	6 28.6	4 19.0	5 23.8	3 14.3	2 9.5	21 100.0

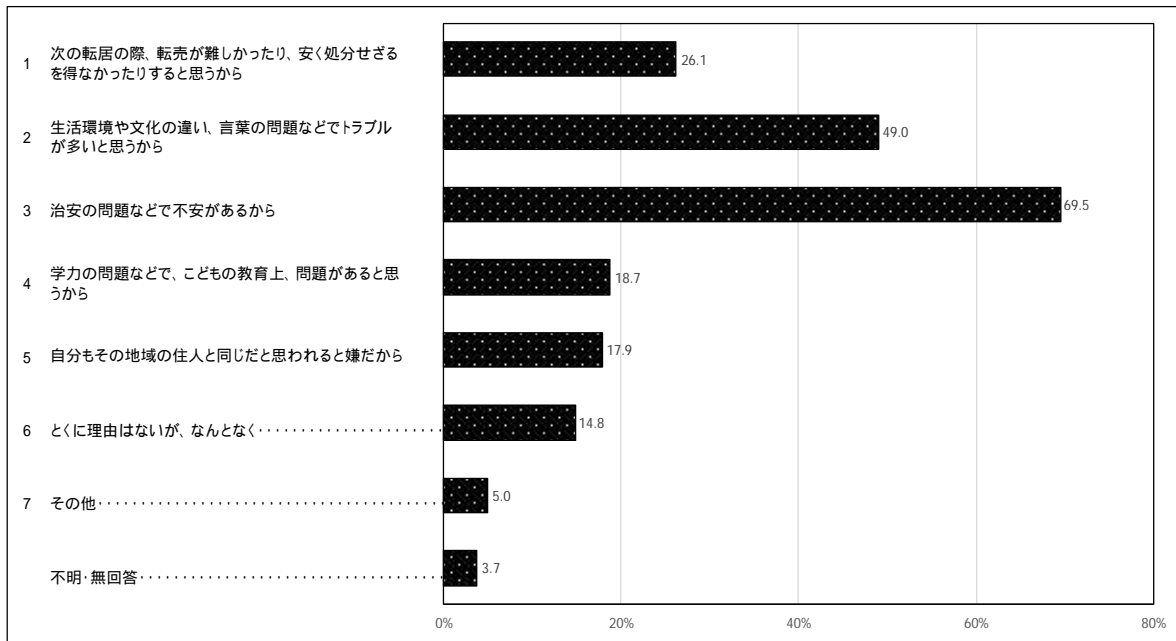
(2) 住宅を選ぶ際の特定地域忌避に対する理由

問6-1 問6の(1)~(5)のような場合に、住宅の購入や入居を避けるのはなぜですか。
 (はいくつでも) 【問6にて「1.避けると思う」「2.どちらかといえば避けると思う」と回答された方対象】

【表2-4-2-1 住宅を選ぶ際の特定地域忌避に対する理由】

	(上段:人、下段:%)									
	りす、安くと 思うから	次の転居の際、 転売が難し かった	ら、転居の際、 トラブルが 多い、言葉 の	生活環境や文 化の違い、言 葉の	治安の問題な どで不安が あるから	学力の問題な どで、こど もの教育	自分もその地 域の住人と 同じだと	とくに理由は ないが、な んとなく	その他	不明・無回 答
市全体	120 26.1	225 49.0	319 69.5	86 18.7	82 17.9	68 14.8	23 5.0	17 3.7	459 100.0	

【図2-4-2 住宅の購入や入居を避ける理由】



問6のような場合に住居の購入や入居を避ける理由について尋ねたところ、「3.治安の問題などで不安があると思うから」と答えた人の割合が69.5%と最も高く、次いで「2.生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」が49.0%、「1.次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりするから」が26.1%であった。

性別でみると、男性では「3.治安の問題などで不安があると思うから」が71.5%と最も高く、次いで「2.生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」が56.5%、「1.次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりするから」が24.2%となっている。

女性では「3.治安の問題などで不安があると思うから」が68.7%と最も高く、次いで「2.生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」が42.6%、「1.次の転居の際、転売が難しかったり、安く処分せざるを得なかったりするから」が27.3%となっている。

年齢別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての年代で「3.治安の問題などで不安があると思うから」であり、数値は10歳代40%、20歳代85.4%、30歳代91.0%、40歳代83.1%、50歳代64.4%、60歳代55.7%、70歳以上50.0%となっている。なお、10歳代では「2.生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」も同率となっている。

【表2-4-2-2】

【表2-4-2-2 性別・年齢別 住宅を選ぶ際の特定地域忌避に対する理由】

		(上段:人、下段: %)																	
		かた つり すく と分 思 う か ら を 得 な か っ	次 の 安 居 す る と 分 せ さ る か ら を 得 な か っ	問 題 な ど で ト ラ ブ ル が 多 い 言 葉 の 思 い	生 活 環 境 や 文 化 の 違 い 言 葉 の 思 い	治 安 の 問 題 な ど で 不 安 が あ る か	育 学 力 の 問 題 な ど で 思 う か ら の 教	と 自 分 も そ の 地 域 だ か ら と 同 じ だ	く と く に 理 由 は な い が 、 な ん と な	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答	合 計							
市全体		120	225	319	86	82	68	23	17	459	26.1	49.0	69.5	18.7	17.9	14.8	5.0	3.7	100.0
性別	男性	45	105	133	35	34	21	13	7	186	24.2	56.5	71.5	18.8	18.3	11.3	7.0	3.8	100.0
	女性	68	106	171	50	45	43	10	9	249	27.3	42.6	68.7	20.1	18.1	17.3	4.0	3.6	100.0
	その他、回答したくない	4	5	8	0	1	1	0	0	10	40.0	50.0	80.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	100.0
	不明・無回答	3	9	7	1	2	3	0	1	14	21.4	64.3	50.0	7.1	14.3	21.4	0.0	7.1	100.0
	不明・無回答	3	9	7	1	2	3	0	1	14	21.4	64.3	50.0	7.1	14.3	21.4	0.0	7.1	100.0
年齢別	10歳代	1	2	2	1	0	0	0	0	5	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
	20歳代	7	24	35	6	2	0	4	1	41	17.1	58.5	85.4	14.6	4.9	0.0	9.8	2.4	100.0
	30歳代	20	36	71	21	13	4	5	0	78	25.6	46.2	91.0	26.9	16.7	5.1	6.4	0.0	100.0
	40歳代	19	38	64	15	9	3	4	1	77	24.7	49.4	83.1	19.5	11.7	3.9	5.2	1.3	100.0
	50歳代	25	47	56	9	18	12	1	3	87	28.7	54.0	64.4	10.3	20.7	13.8	1.1	3.4	100.0
	60歳代	27	41	44	19	21	20	4	3	79	34.2	51.9	55.7	24.1	26.6	25.3	5.1	3.8	100.0
	70歳以上	18	29	40	14	17	27	5	9	80	22.5	36.3	50.0	17.5	21.3	33.8	6.3	11.3	100.0
	不明・無回答	3	8	7	1	2	2	0	0	12	25.0	66.7	58.3	8.3	16.7	16.7	0.0	0.0	100.0

職業別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての職業で「3.治安の問題などで不安があると思うから」であり、「自営業」が73.4%、「民間正規雇用」が77.2%、「公務員、教員」が75.0%、「非正規雇用」が75.5%、「家事専業、学生、無職」が55.1%となっている。なお、「公務員、教員」では「2.生活環境や文化の違い、言葉の問題などでトラブルが多いと思うから」も同率となっている。

【表2-4-2-3】

【表2-4-2-3 職業別 住宅を選ぶ際の特定地域忌避に対する理由】

(上段:人、下段: %)

		かた次の つりの 安居す くの 処際 と分 せ さ が る が 難 し な か っ	うか ら 問 題 な ど で ト ラ ブ ル の 違 い 多 い 言 葉 の 思	ら 治 安 の 問 題 な ど で 不 安 が あ る か	育学 上力 の 問 題 が あ る と 思 う か ら	と自 分も れそ の地 域だ の住 人 と 同 じ だ	く と く に 理 由 は な い が 、 な ん と な	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		120	225	319	86	82	68	23	17	459
		26.1	49.0	69.5	18.7	17.9	14.8	5.0	3.7	100.0
職業別	自営業	11	26	47	16	14	4	6	2	64
		17.2	40.6	73.4	25.0	21.9	6.3	9.4	3.1	100.0
	民間正規雇用	42	72	105	30	28	10	13	2	136
		30.9	52.9	77.2	22.1	20.6	7.4	9.6	1.5	100.0
	公務員、教員	5	9	9	4	1	0	0	0	12
		41.7	75.0	75.0	33.3	8.3	0.0	0.0	0.0	100.0
	非正規雇用	25	56	74	14	17	18	0	1	98
		25.5	57.1	75.5	14.3	17.3	18.4	0.0	1.0	100.0
	家事専業、学生、無職	34	55	76	21	20	34	4	12	138
		24.6	39.9	55.1	15.2	14.5	24.6	2.9	8.7	100.0
	不明・無回答	3	7	8	1	2	2	0	0	11
		27.3	63.6	72.7	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0	100.0

学歴別でみると、答えた人の割合が最も高いのは、すべての学歴で「3.治安の問題などで不安があると思うから」であり、「中学卒」が56.7%、「高校卒」が63.8%、「短大卒」が76.8%、「大学卒」が71.9%、となっている。【表2-4-2-4】

【表2-4-2-4 学歴別 住宅を選ぶ際の特定地域忌避に対する理由】

		(上段:人、下段: %)										
		かた つり すく る処 と分 思 う か ら	次 の 安 居 す る と 分 思 う か ら	問 題 な ど の 境 界 の 文 化 的 差 異 が 多 い 言 葉 の 思 い	生 活 環 境 で や ら な い 言 葉 の 思 い	治 安 の 問 題 な ど で 不 安 が あ る か	育 学 力 の 問 題 が あ る こ と か ら	と 自 分 も れ そ の 地 域 だ か ら と 同 じ だ	く と く に 理 由 は な い が 、 な ん と な	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答	合 計
市全体		120	225	319	86	82	68	23	17	459		
		26.1	49.0	69.5	18.7	17.9	14.8	5.0	3.7	100.0		
学 歴 別	1.中学校、旧制小学校、旧制高等小学校	10	7	17	3	5	9	1	5	30		
		33.3	23.3	56.7	10.0	16.7	30.0	3.3	16.7	100.0		
	2.高等学校、中学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制中等学校	38	75	97	27	34	34	9	7	152		
		25.0	49.3	63.8	17.8	22.4	22.4	5.9	4.6	100.0		
	3.短期大学・高等専門学校、高等学校卒業が入学資格の 専修学校・各種学校、旧制高等学校、専門学校	30	61	96	19	21	9	7	3	125		
		24.0	48.8	76.8	15.2	16.8	7.2	5.6	2.4	100.0		
	4.大学、大学院	39	71	97	35	20	13	5	2	135		
	28.9	52.6	71.9	25.9	14.8	9.6	3.7	1.5	100.0			
5.その他	1	3	5	1	0	1	1	0	6			
	16.7	50.0	83.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	100.0			
不明・無回答	2	8	7	1	2	2	0	0	11			
	18.2	72.7	63.6	9.1	18.2	18.2	0.0	0.0	100.0			